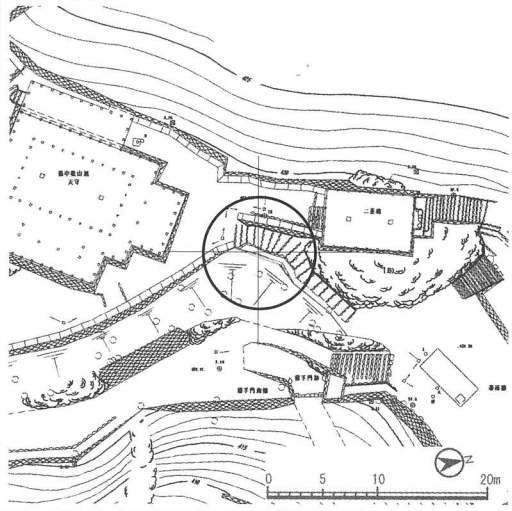
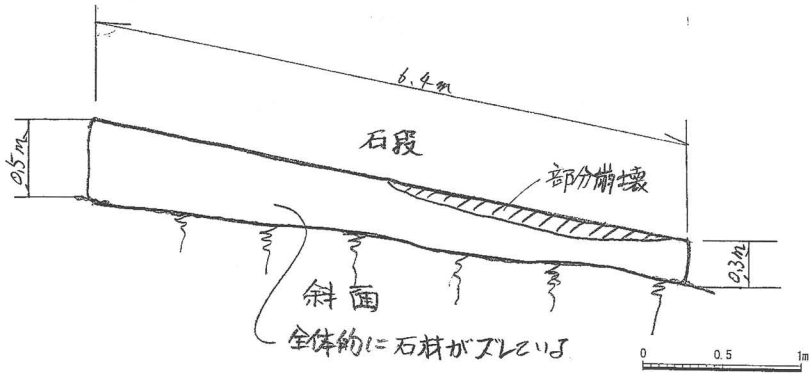
石垣番号	km_155	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 6.40		下端 6.20		
石垣高さ	左 0.50		右 0.30		
	最高 0.72		最高点位置 右 2.80		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	破損軽微。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	

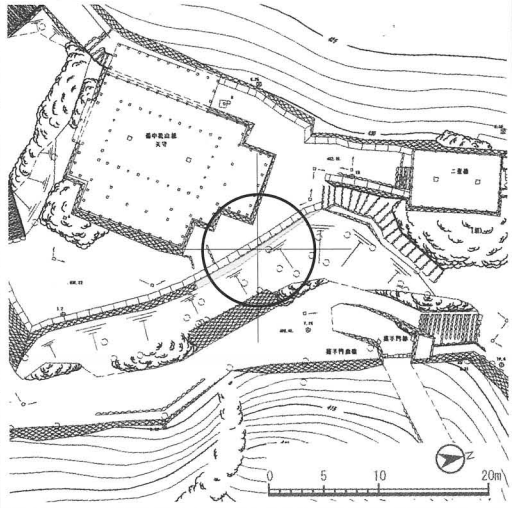


左変曲点

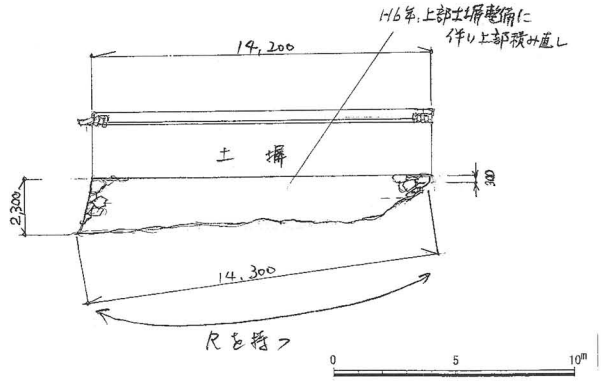
全景写真1

石垣番号	km_156	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	km_157へ			
石垣延長	天端 14.20		下端 14.30		
石垣高さ	左 2.30		右 1.12		
	最高 2.64		最高点位置 左 4.00		
石垣勾配	左 0.30		右 0.10		
	最高地点 0.35				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

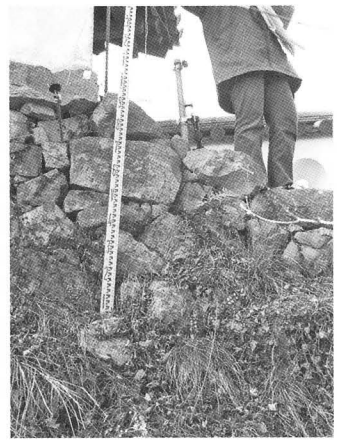


破損の要因と破損状況	略図



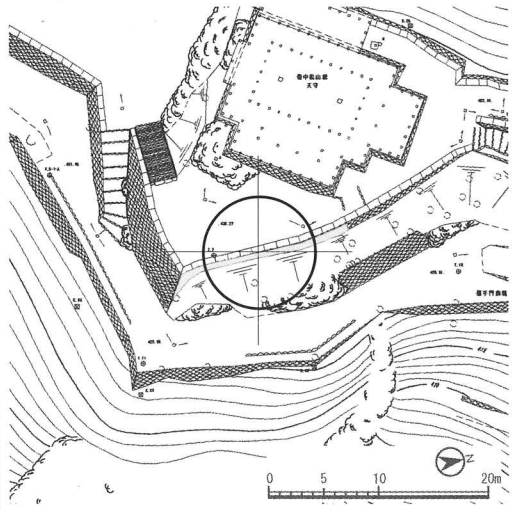
左変曲点

右変曲点



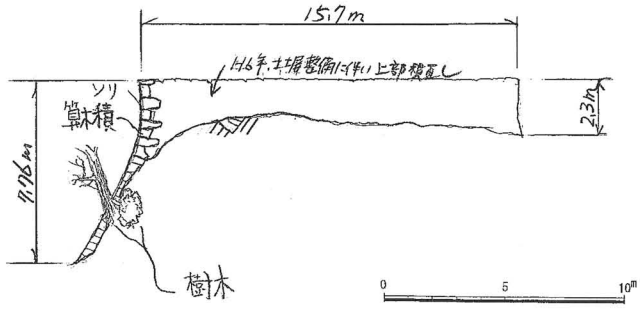
石垣番号	km_157	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	郭				
角の形状	右	km_156へ			
	左	出角			
石垣延長	天端 15.70		下端 20.00		
石垣高さ	左 7.76		右 2.30		
	最高 7.76		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.30		右 0.30		
	最高地点 0.30				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	ソリのカーブが特徴的。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

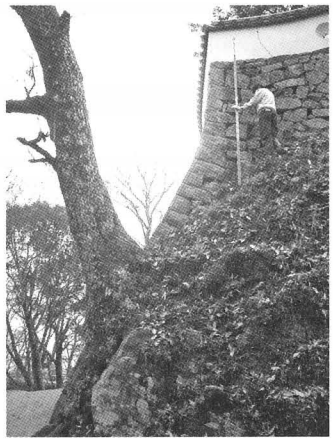


破損の要因と破損状況

略図



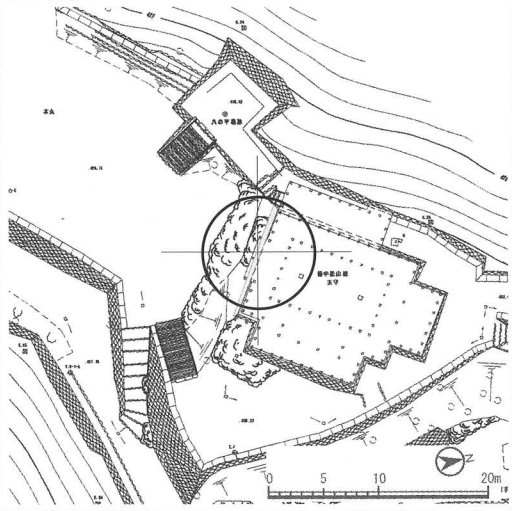
左変曲点



右変曲点

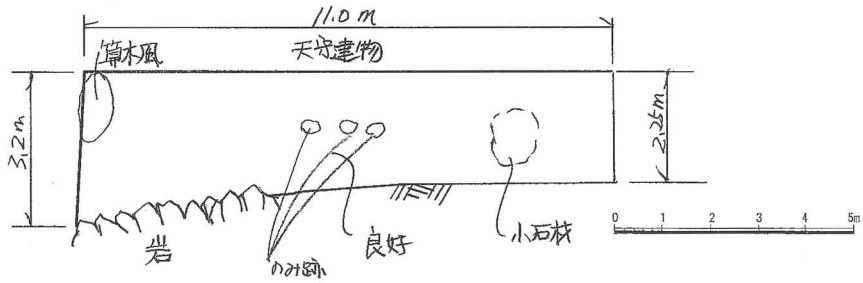
石垣番号	km_158	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 11.00		下端 11.20		
石垣高さ	左 3.20		右 2.25		
	最高 3.20		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.10		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	60～80cmの割石を隅角に、40cm程の方形に近い割石をその中に使う。天端石を揃える。算木積（低）。露岩上に築造。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

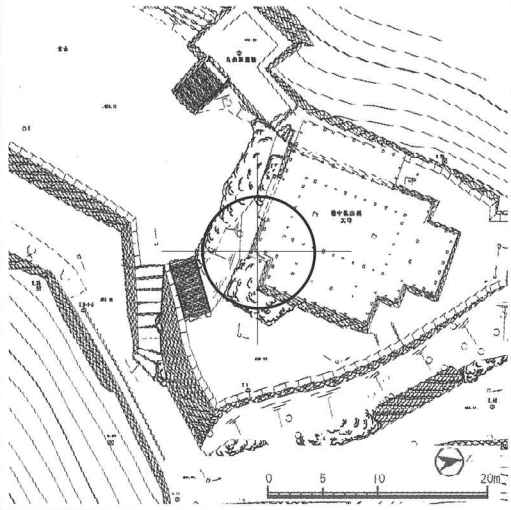
略図



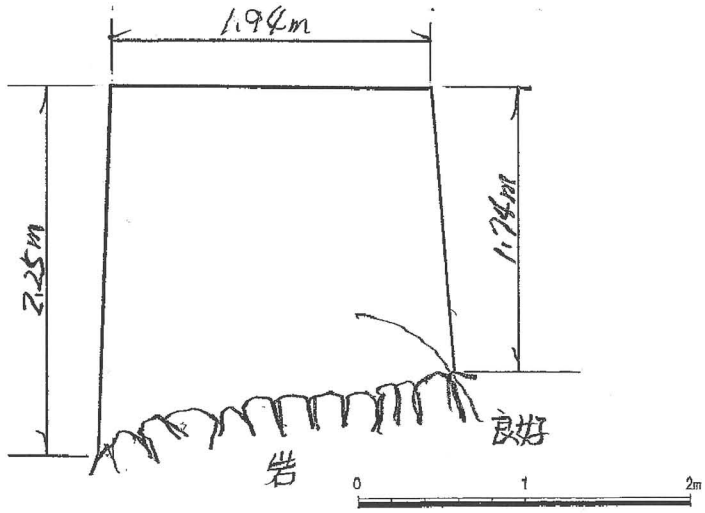
全景写真1

石垣番号	km_159	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.94		下端 2.10		
石垣高さ	左 2.25		右 1.74		
	最高 2.25		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.10		
	最高地点 0.15				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	60～80cmの割石を隅角に、40cm程の方形に近い割石をその中に使う。天端石を揃える。算木積（高）。露岩上に築造。				

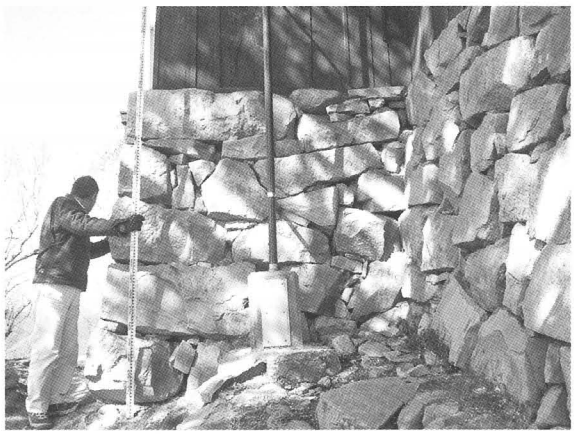
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

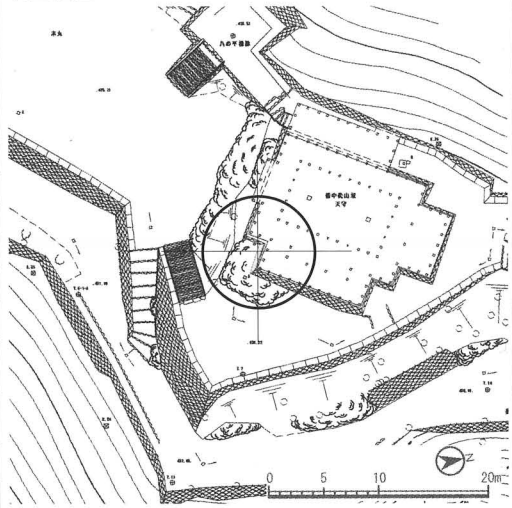


全景写真1



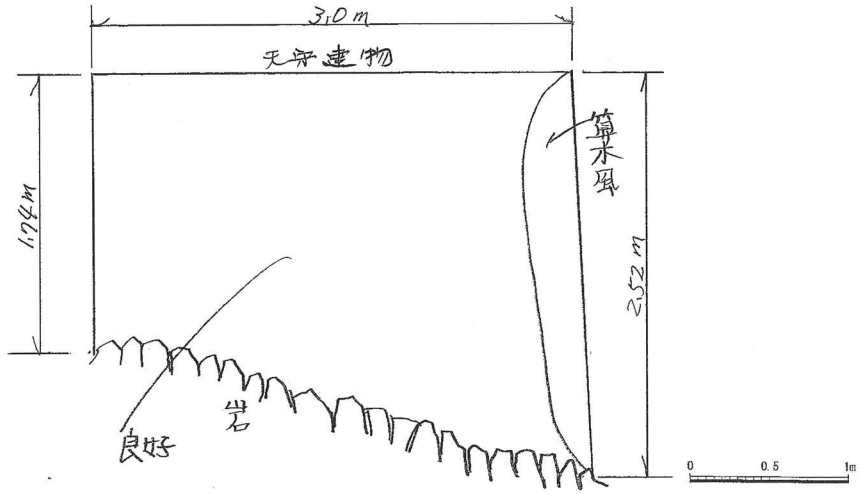
石垣番号	km_160	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 3.00		下端 3.10		
石垣高さ	左 1.74		右 2.52		
	最高 2.52		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.10		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	60～80cmの割石を隅角に、40cm程の方形に近い割石をその中に使う。天端石を揃える。右端算木積（低）。露岩上に築造。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

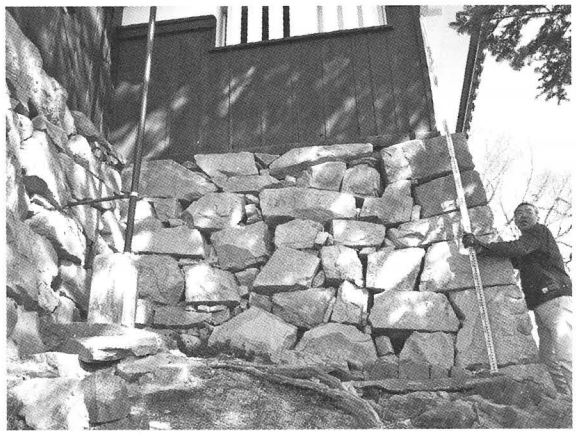


破損の要因と破損状況

略図

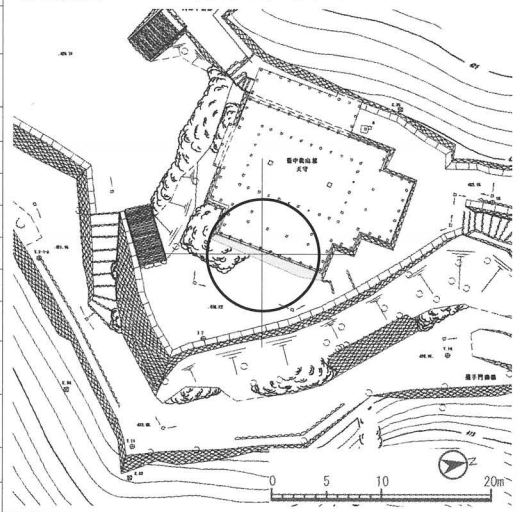


全景写真1



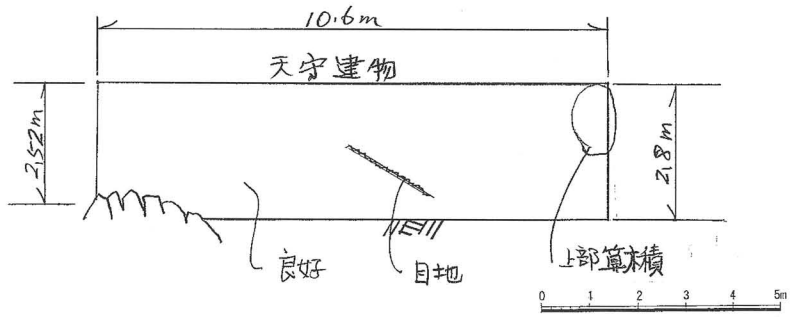
石垣番号	km_161	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 10.60		下端 10.95		
石垣高さ	左 2.52		右 2.80		
	最高 2.80		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.15		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	岩・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	60～80cmの割石を隅角に、40cm程の方形に近い割石をその中に使う。天端石を揃える。左端下は露岩上に築造。算木積（低）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

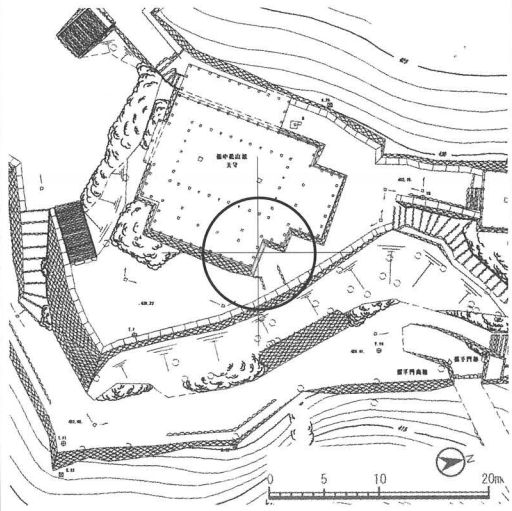
略図



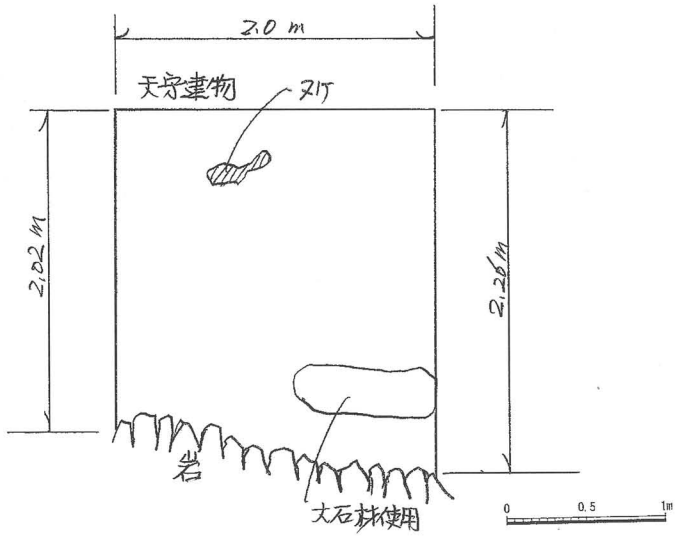
全景写真1

石垣番号	km_162	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.15		下端 3.20		
石垣高さ	左 2.80		右 2.02		
	最高 2.80		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.10		
	最高地点 0.15				
地盤状況	岩・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	60～80cmの割石を隅角に、40cm程の方形に近い割石をその中に使う。天端石を揃える。左算木積（高）。上から１／３地点横に目地通る。露岩上に築造。間詰石のヌケあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



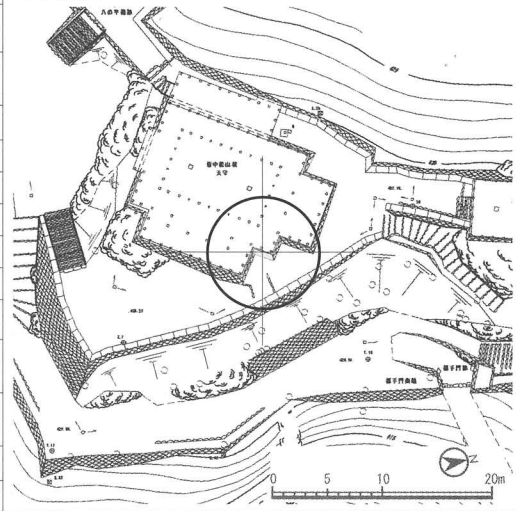
破損の要因と破損状況	略図



全景写真１

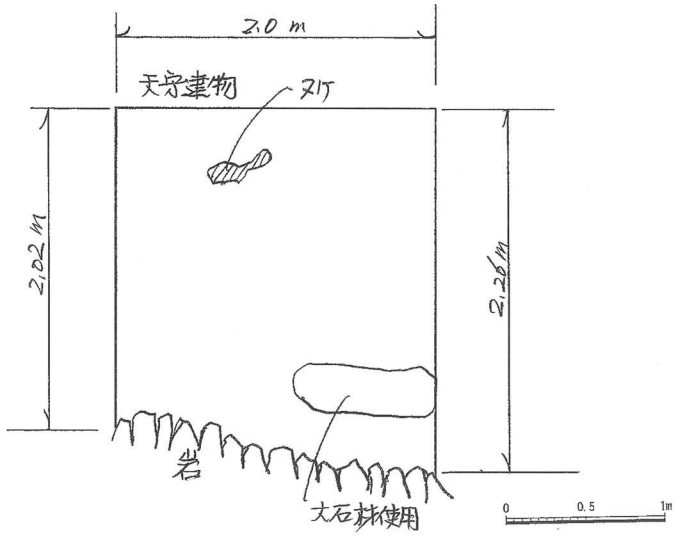
石垣番号	km_163	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.00		下端 2.00		
石垣高さ	左 2.02		右 2.26		
	最高 2.26		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.15		右 0.12		
	最高地点 0.12				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	60～80cmの割石を隅角に、40cm程の方形に近い割石をその中に使う。天端石を揃える。右算木積（高）。露岩上に築造。間詰石ヌケあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

略図

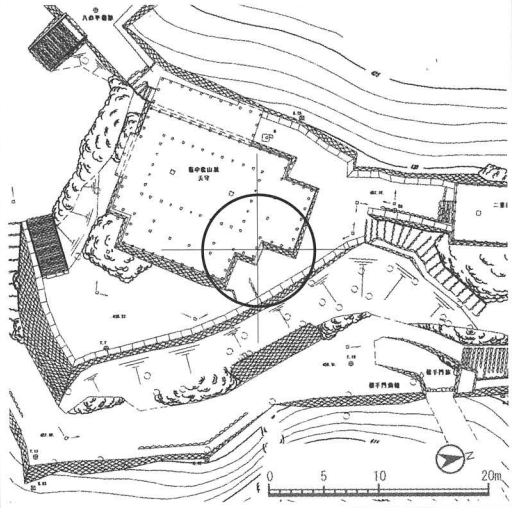


全景写真1

全景写真2

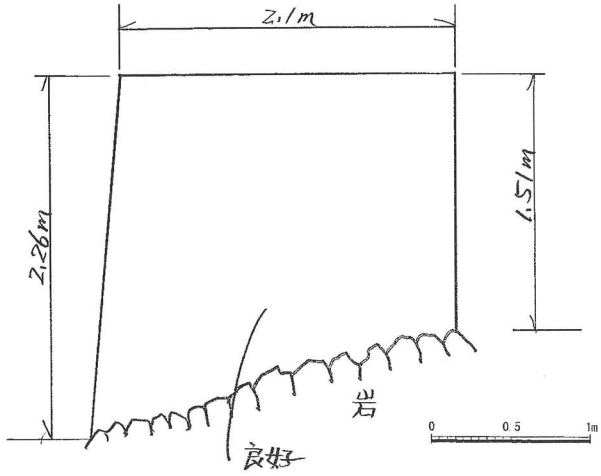
石垣番号	km_164	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.10		下端 2.30		
石垣高さ	左 2.26		右 1.51		
	最高 2.26		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.12		右 0.12		
	最高地点 0.12				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	60～80cmの割石を隅角に、40cm程の方形に近い割石をその中に使う。天端石を揃える。左算木積（高）。入角のかみ合わせが浅い。斜めに目地。隅角に岩露出。露岩上に築造。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

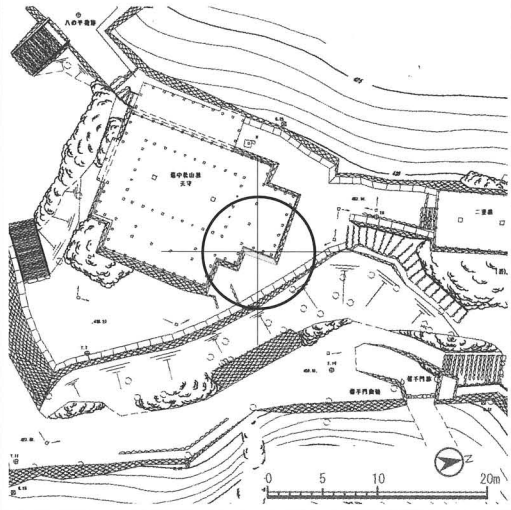
略図



全景写真1

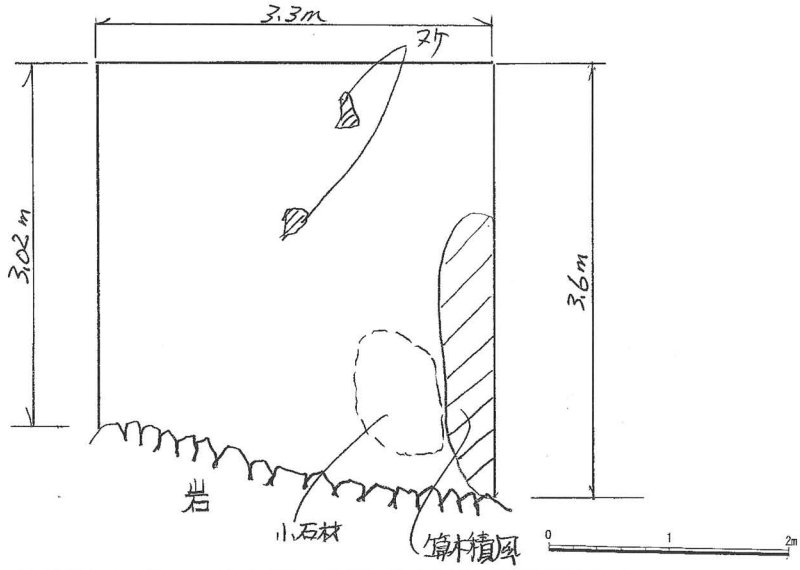
石垣番号	km_165	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 3.30		下端 3.30		
石垣高さ	左 3.02		右 3.60		
	最高 3.60		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.10		右 0.05		
	最高地点 0.05				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	60～80cmの割石を隅角に、40cm程の方形に近い割石をその中に使う。天端石を揃える。立石を使用。入角部に岩露出。斜めに目地通る。露岩上に築造。算木積（低）。間詰石のヌケあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

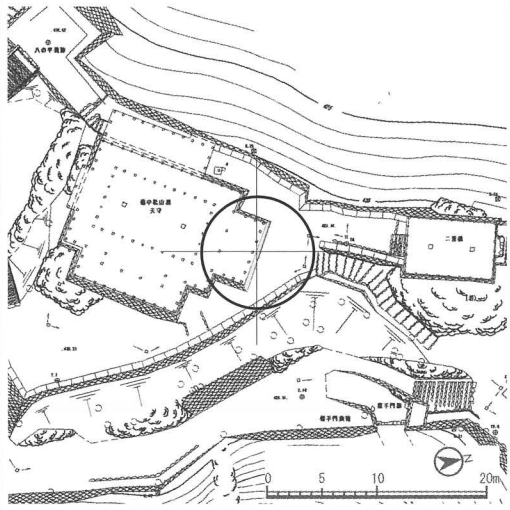
略図



全景写真1

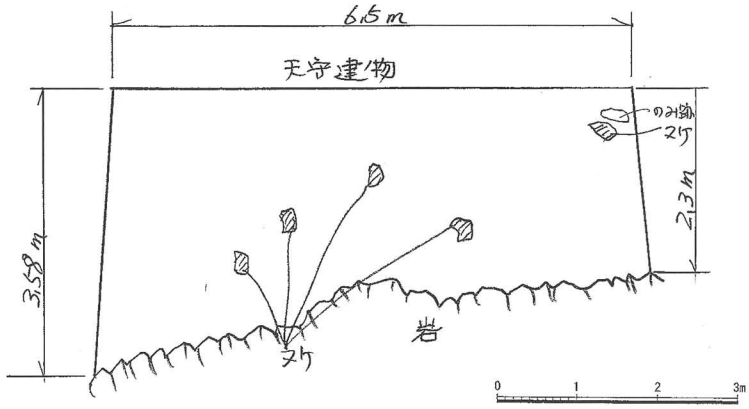
石垣番号	km_166	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.50		下端 6.90		
石垣高さ	左 3.58		右 2.3		
	最高 3.58		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.10		右 0.05		
	最高地点 0.10				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

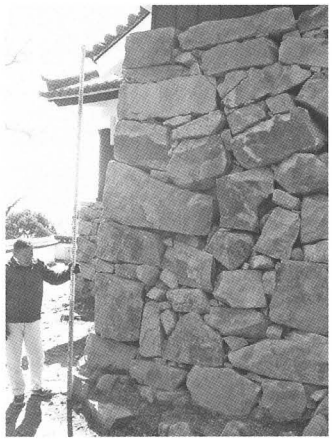


特記事項	60～80cmの割石を隅角に、40cm程の方形に近い割石をその中に使う。天端石を揃える。中央から右端にかけて岩。斜めに目地通る。石材の形状に統一感がない。間詰石のヌケあり。露岩上に築造。

破損の要因と破損状況	略図

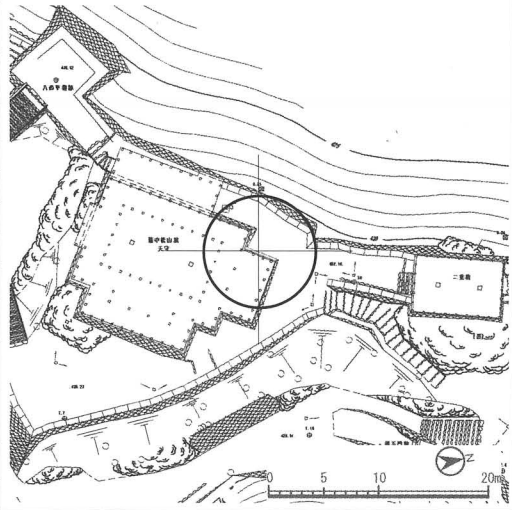


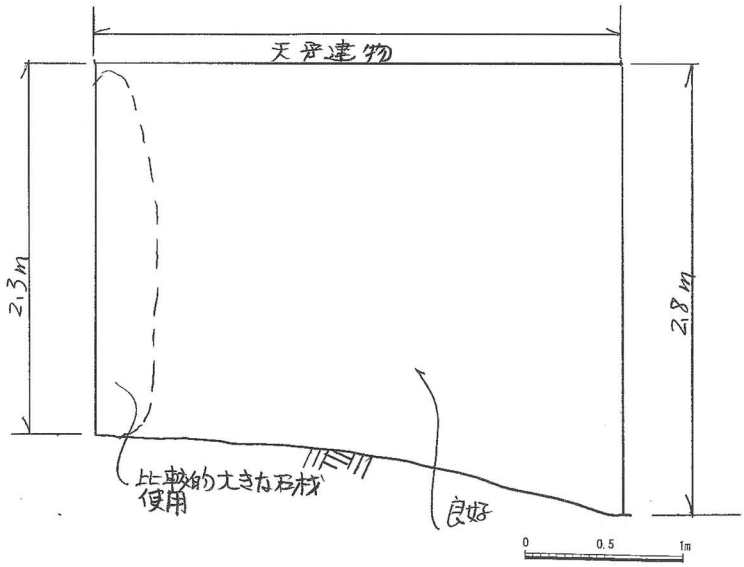
全景写真1



石垣番号	km_167	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.30		下端 3.30		
石垣高さ	左 2.30		右 2.80		
	最高 2.80		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	60～80cmの割石を隅角に、40cm程の方形に近い割石をその中に使う。天端石を揃える。全体に岩露出。明瞭でない算木積（低）。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

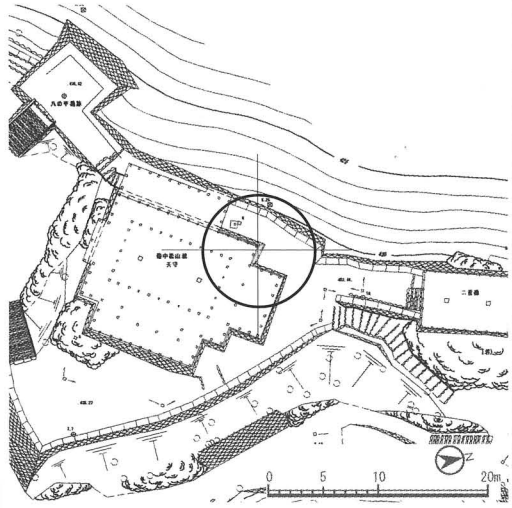


破損の要因と破損状況	略図
	

全景写真1

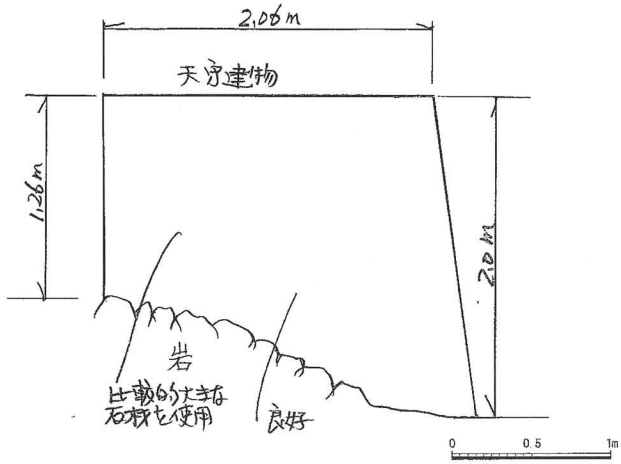
石垣番号	km_168	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 2.06		下端 2.30		
石垣高さ	左 1.26		右 2.00		
	最高 2.00		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.05		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	60～80cmの割石を隅角に、40cm程の方形に近い割石をその中に使う。天端石を揃える。右隅角算木積（高）。入角部に岩露出。露岩上に築造。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

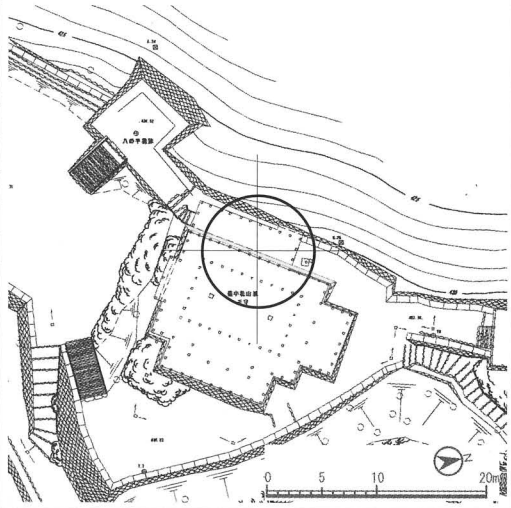
略図



全景写真1

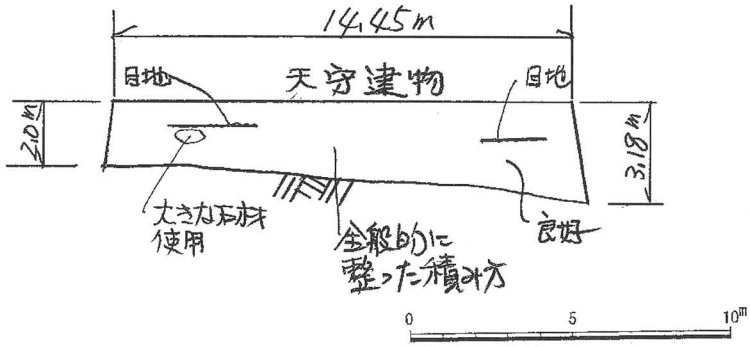
石垣番号	km_169	地区名	小松山城跡	曲輪名	本丸上の段
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 14.45		下端 15.15		
石垣高さ	左 2.00		右 3.18		
	最高 3.18		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.15		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	岩・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	60～80cmの割石を隅角に、40cm程の方形に近い割石をその中に使う。天端石を揃える。左隅角算木積（高）。左端近くに岩露出。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

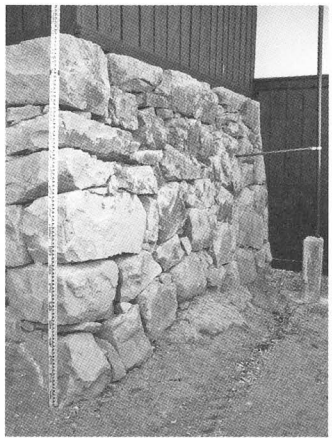


破損の要因と破損状況

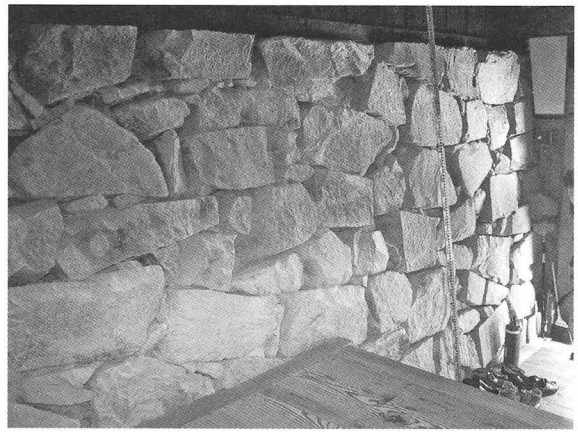
略図



左変曲点

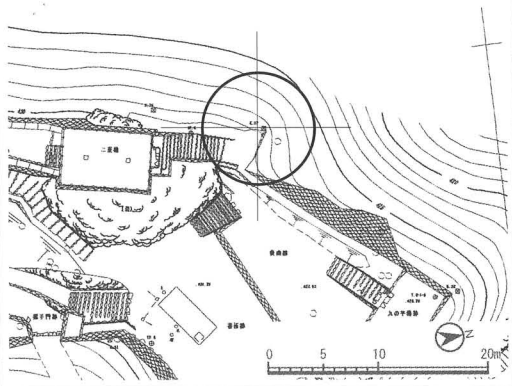


右変曲点



石垣番号	km_170	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け・土			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.16		下端 1.25		
石垣高さ	左 1.00		右 0.26		
	最高 1.00		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項					

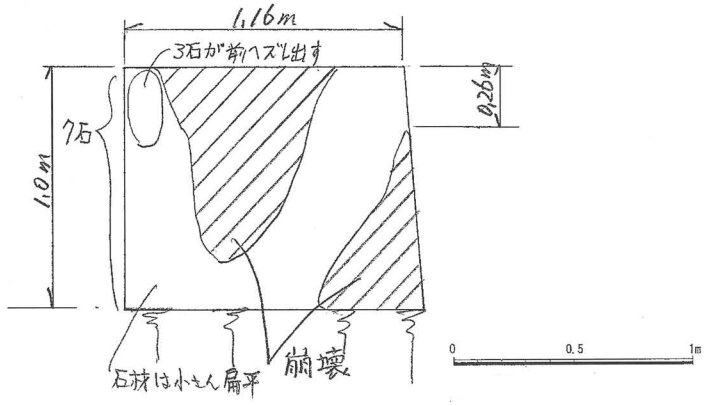
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

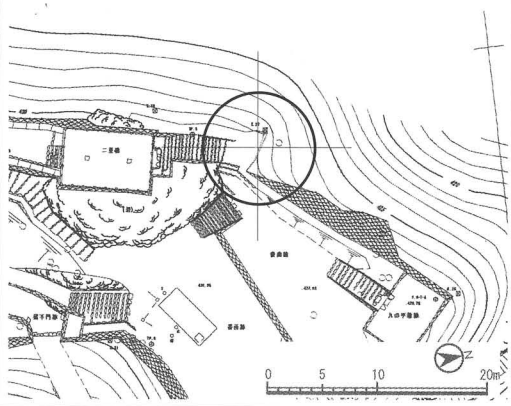
略図



全景写真1

石垣番号	km_171	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け・土羽			
石垣延長	天端 4.00		下端 4.00		
石垣高さ	左 0.12		右 1.00		
	最高 1.00		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	前面急斜面。				

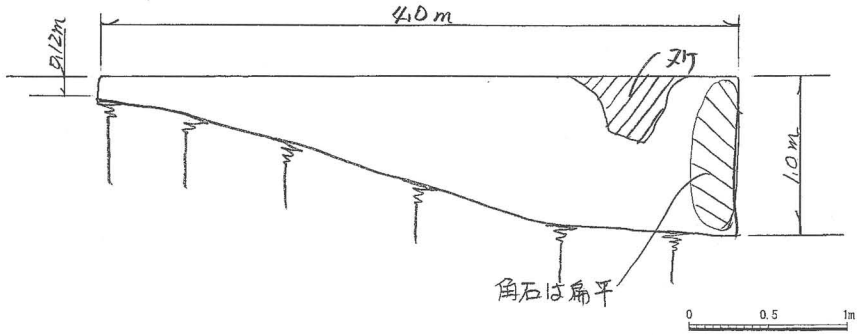
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。

略図

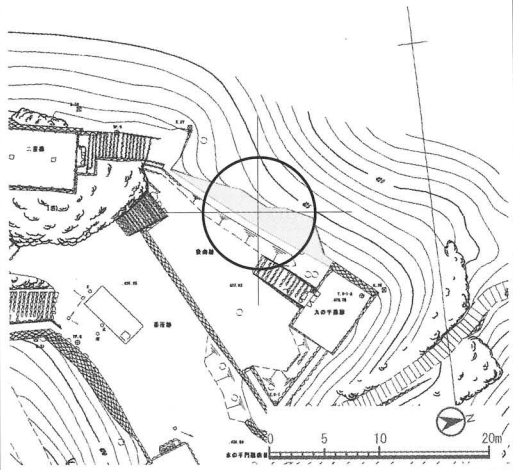


全景写真1

全景写真2

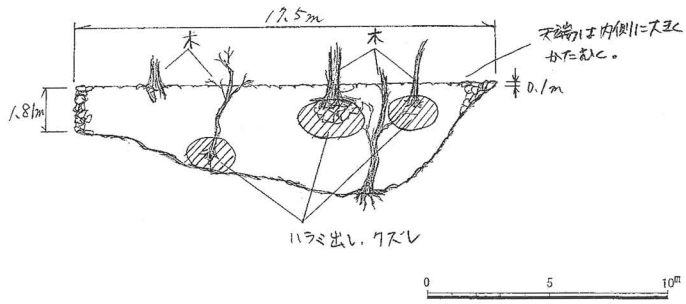
石垣番号	km_172	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 17.50		下端 18.17		
石垣高さ	左 1.81		右 0.10		
	最高 4.65		最高点位置 左 4.50		
石垣勾配	左 0.08		右 0.00		
	最高地点 0.90				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ・ハラミ				
構築年代	廃城後改修				
危険度	B				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

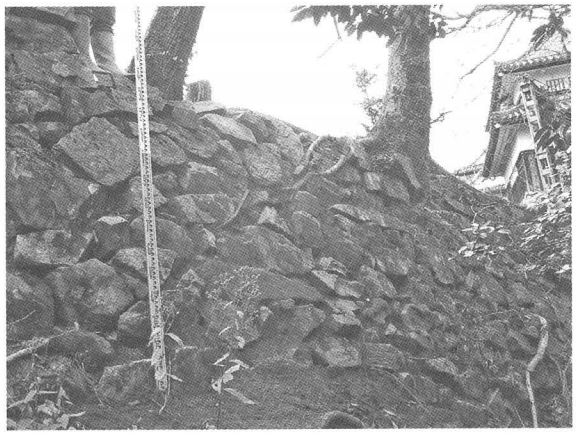


特記事項	樹木によってその周りが大きくはみ出して居る。ズレも見られる。6割くらいがハラミだが、それなりに安定。天端石が内側に傾く。

破損の要因と破損状況	略図
・石垣面の樹木の影響などにより、ズレ、ヌケ、ハラミがみられる。	



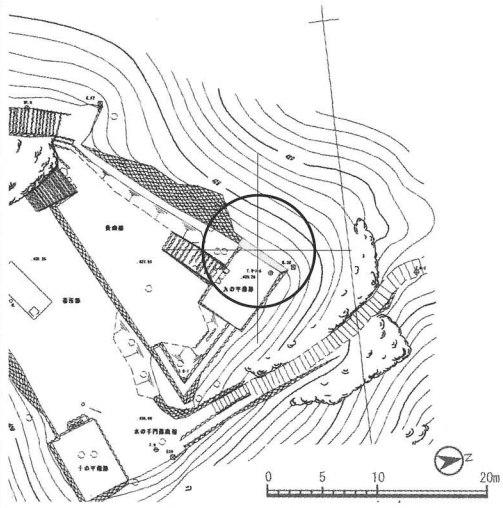
左変曲点



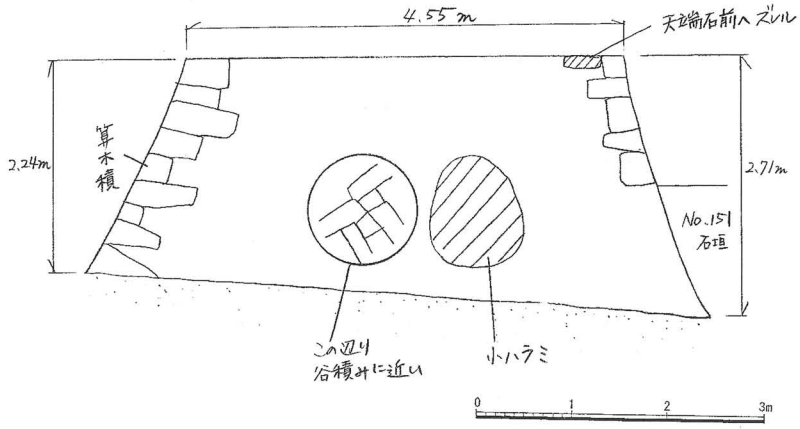
右変曲点

石垣番号	km_173	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.55		下端 4.60		
石垣高さ	左 2.24		右 2.71		
	最高 2.71		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.50		右 0.35		
	最高地点 0.35				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。崩落の危険なし。算木積（高）。谷積あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



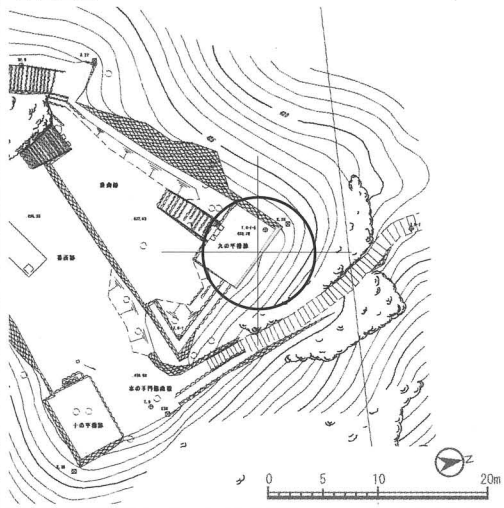
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、小ハラミがみられる。	



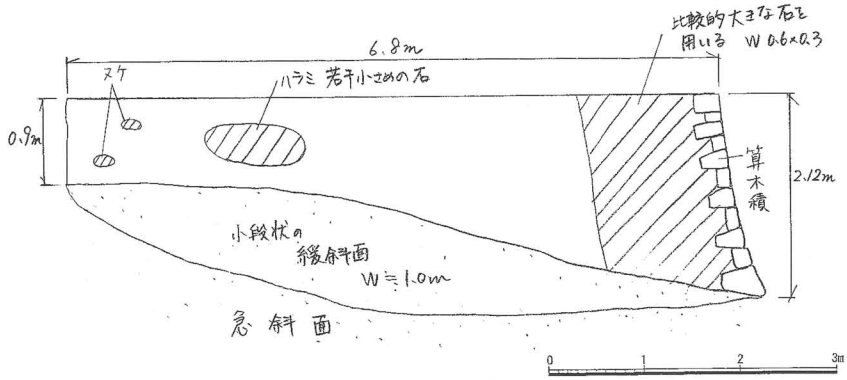
全景写真1

石垣番号	km_174	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.80		下端 7.50		
石垣高さ	左 0.90		右 2.12		
	最高 2.12		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.26		
	最高地点 0.26				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。算木積（高）。崩落の危険なし。間詰石のヌケあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

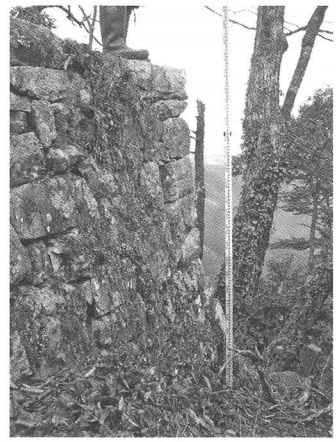


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、小ハラミがみられる。	



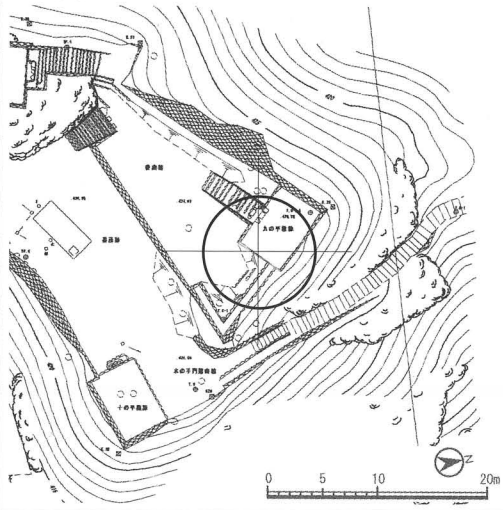
左変曲点

右変曲点

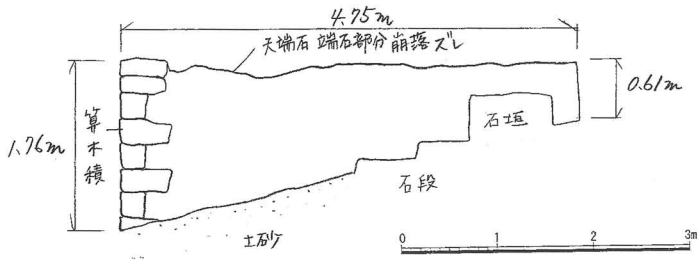


石垣番号	km_175	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 4.75		下端 4.80		
石垣高さ	左 1.76		右 0.61		
	最高 1.76		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.00		右 0.05		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・ズレ・天端石欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	算木積（高）。安定している。右奥土砂で埋もれる。崩落の危険なし。				

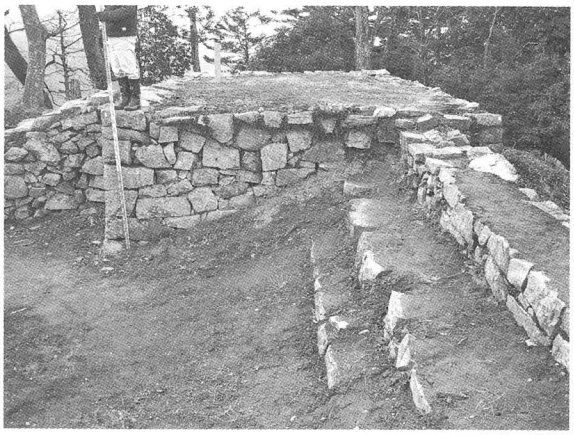
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、カケがみられる。	

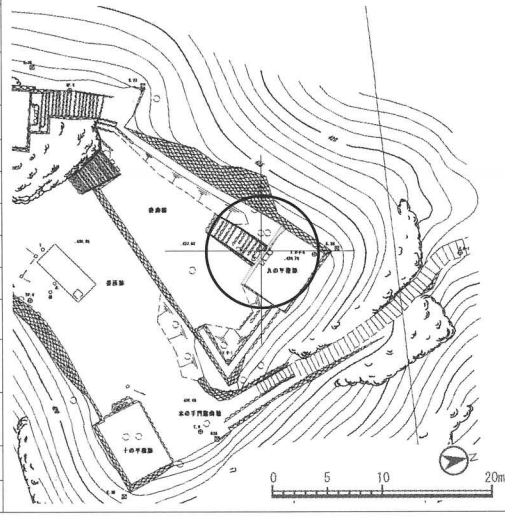


全景写真１

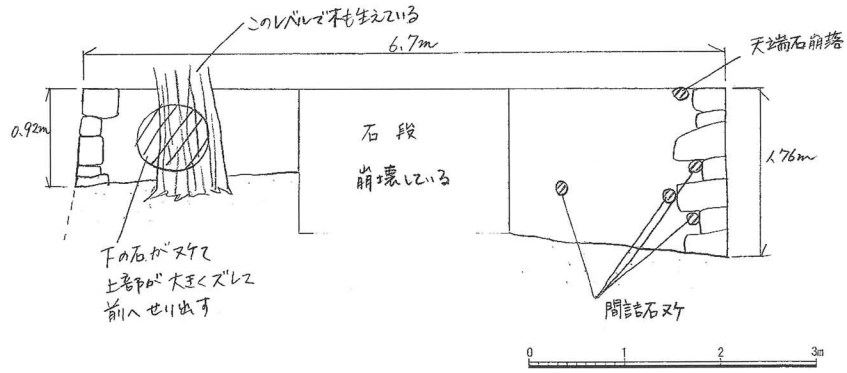


石垣番号	km_176	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.70		下端 6.95		
石垣高さ	左 0.92		右 1.76		
	最高 1.76		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。算木積（高）。昭和58年修理。間詰石のヌケあり。				

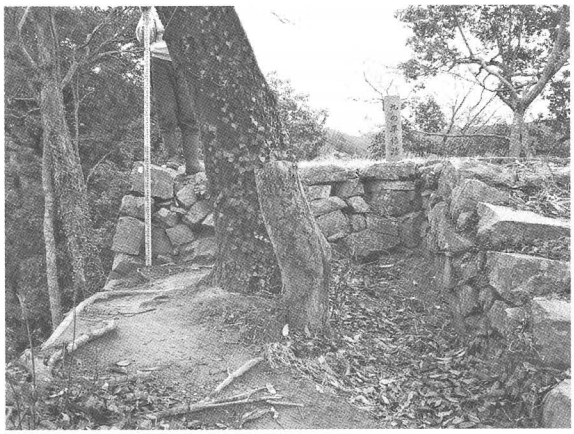
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	



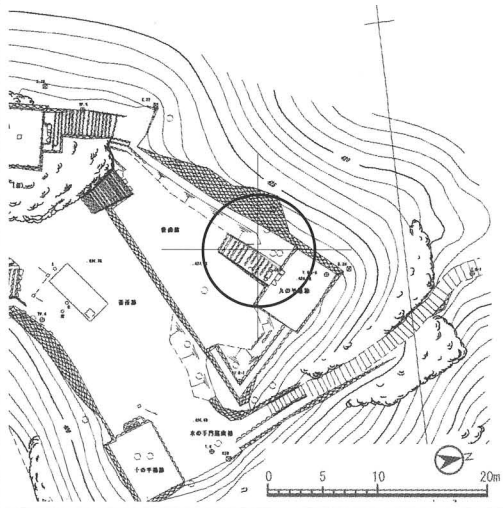
左変曲点



右変曲点

石垣番号	km_177	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 5.85		下端 5.60		
石垣高さ	左 0.81		右 0.03		
	最高 0.81		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ハラミ・ヌケ・割レ・崩落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	石段部分は下半分半壊状態（石材のズレ、崩落）。				

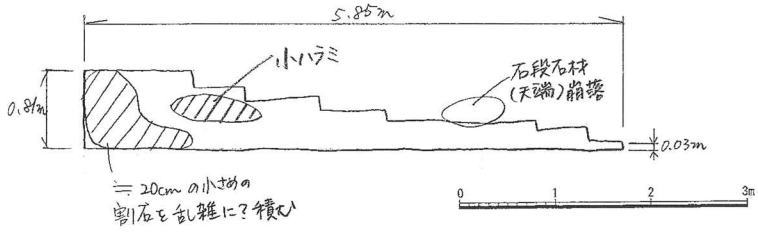
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、小ハラミ、ワレがみられる。

略図

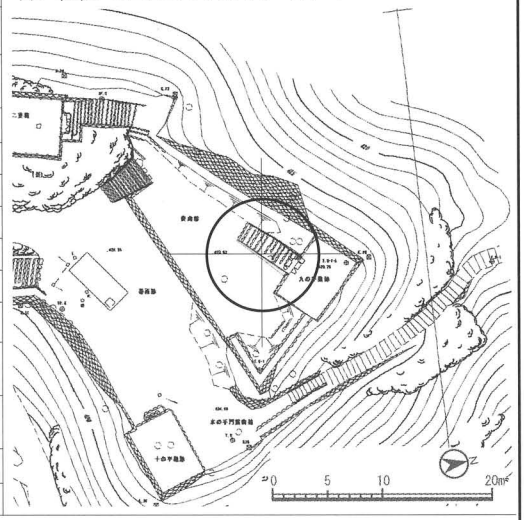


左変曲点

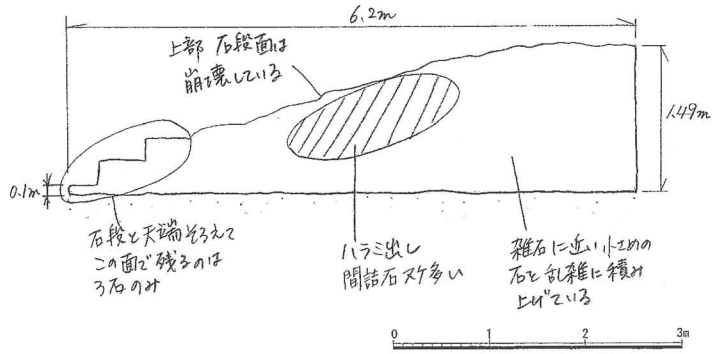
右変曲点

石垣番号	km_178	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 6.20		下端 5.90		
石垣高さ	左 0.10		右 1.49		
	最高 1.49		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.08		
	最高地点 0.08				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	石段部分は下半分半壊状態（石材のズレ、崩落）。間詰石のヌケあり。				

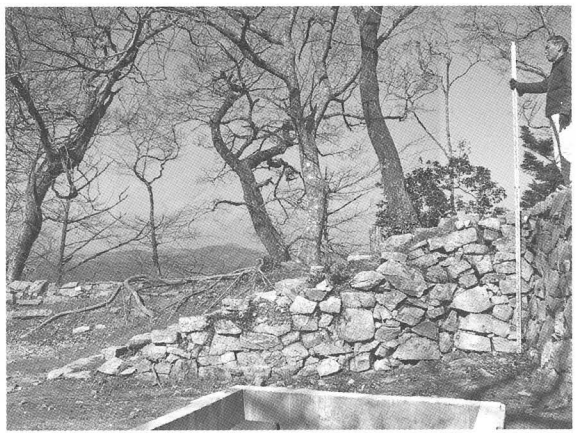
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミ、部分崩壊がみられる。	

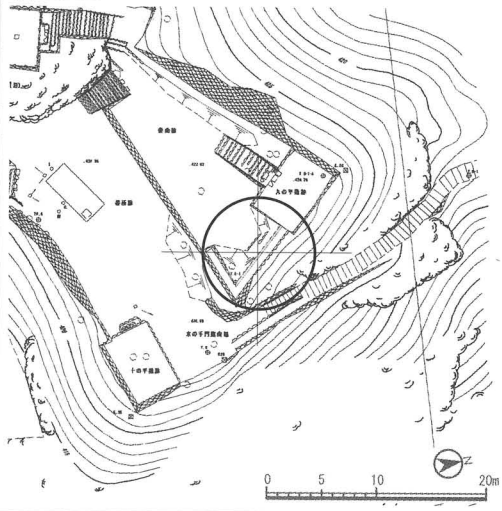


全景写真1

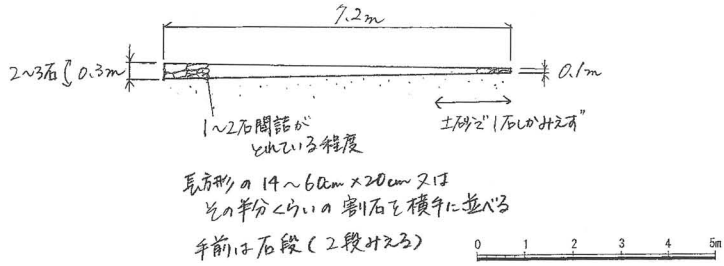


石垣番号	km_179	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	郭・その他				
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 7.20		下端 7.20		
石垣高さ	左 0.30		右 0.10		
	最高 0.45		最高点位置 左 1.00		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。雁木最上段に相当。崩落の危険なし。左端は小石用いる。石は列石平置き。間詰石のヌケ。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



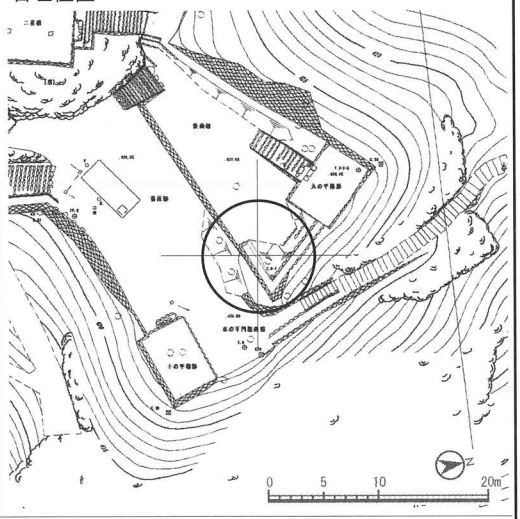
破損の要因と破損状況	略図



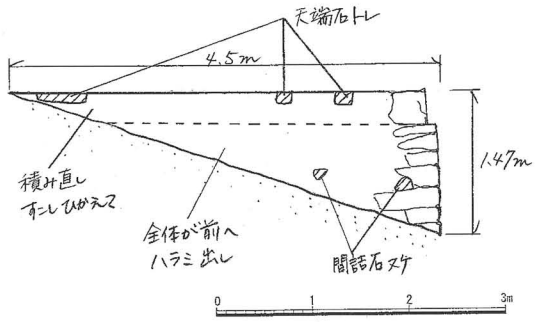
全景写真1

石垣番号	km_180	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	郭・その他				
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 4.50		下端 4.95		
石垣高さ	左 0.00		右 1.47		
	最高 1.47		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	多少はらむが安定している。上一石のみ控えて積む。積み足しではない。間詰石のヌケあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



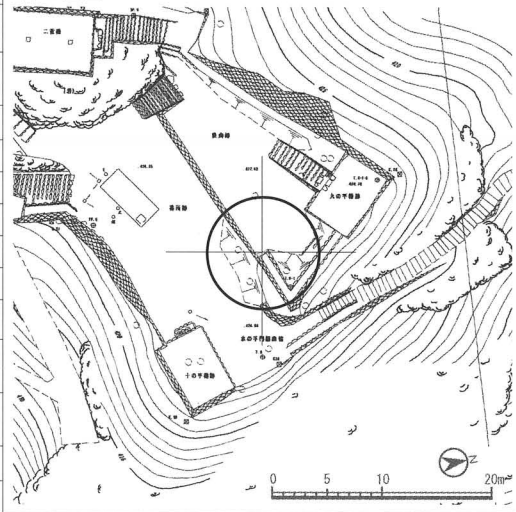
破損の要因と破損状況	略図



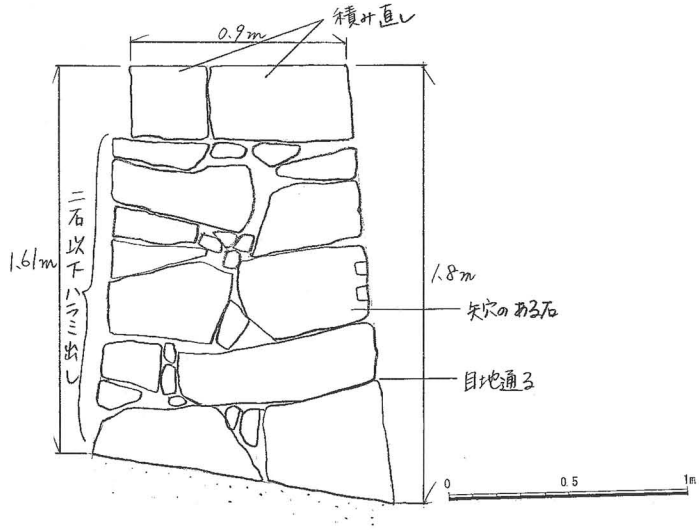
全景写真1

石垣番号	km_181	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	郭・その他				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 0.90		下端 1.25		
石垣高さ	左 1.61		右 1.80		
	最高 1.80		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	左隅角部多少ハラムが崩落の危険なし。間詰石のヌケあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



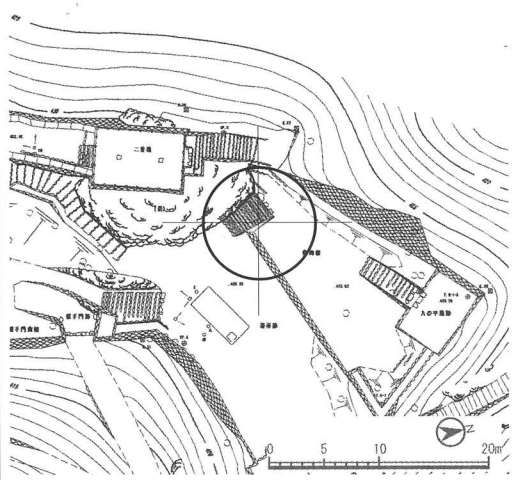
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ハラミがみられる。	



全景写真1

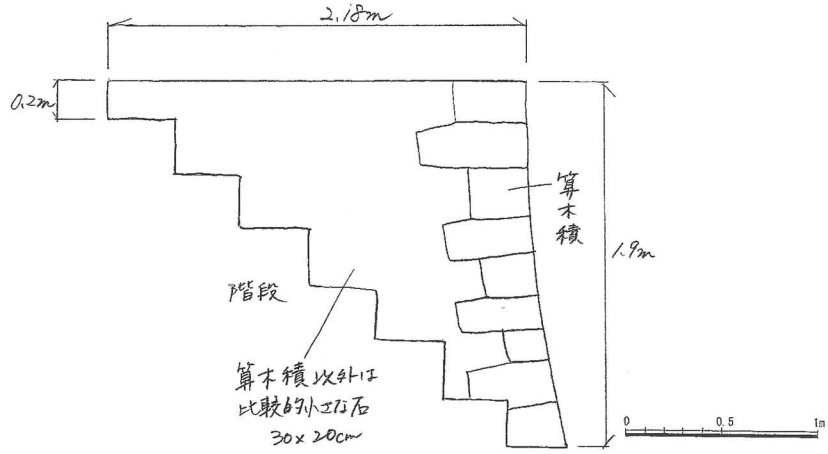
石垣番号	km_182	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.18		下端 2.90		
石垣高さ	左 0.20		右 1.90		
	最高 1.90		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	石段				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。算木積（高）。隅角以外は小石が多い。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

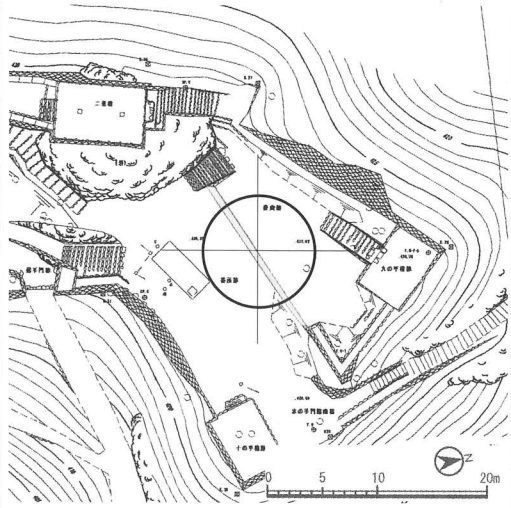
略図



全景写真1

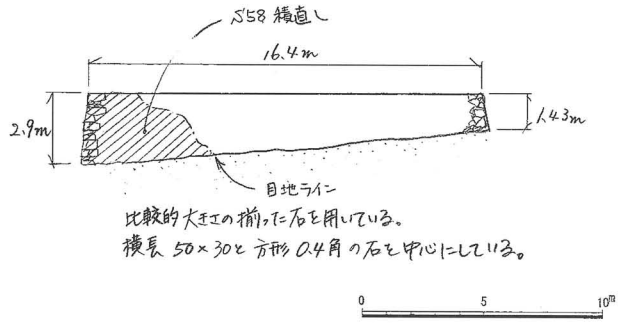
石垣番号	km_183	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け・塀石垣			
石垣延長	天端 16.40		下端 15.60		
石垣高さ	左 2.90		右 1.43		
	最高 2.90		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.20		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積一部落し積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。昭和58年修理。崩落の危険なし。根石近くに落し積。積み直しライン分かる。（右大半は）いくつかライン通る。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



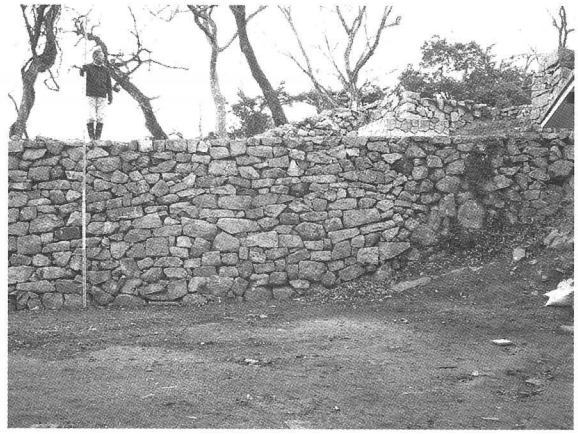
破損の要因と破損状況

略図



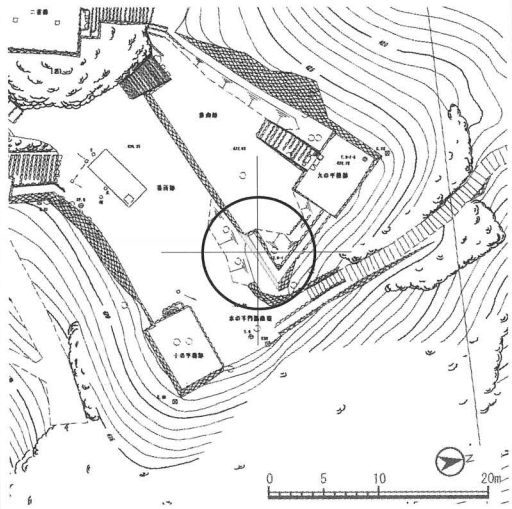
左変曲点

右変曲点

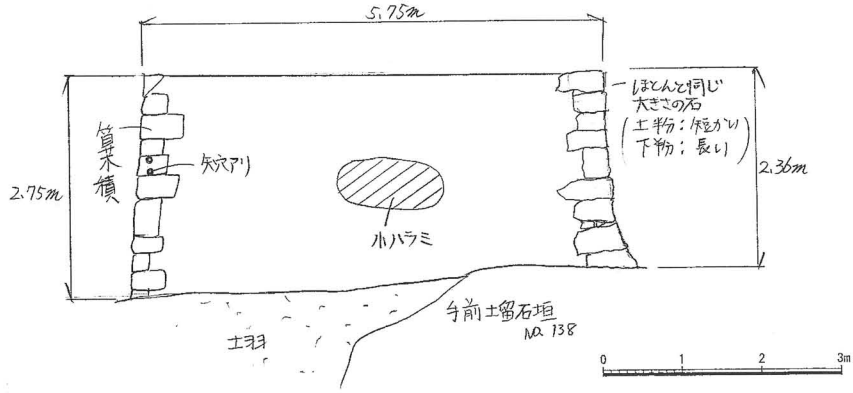


石垣番号	km_184	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	郭・その他				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 5.75		下端 6.10		
石垣高さ	左 2.75		右 2.36		
	最高 2.75		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.20		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・岩・土留石垣上				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。左隅角算木積（高）。				

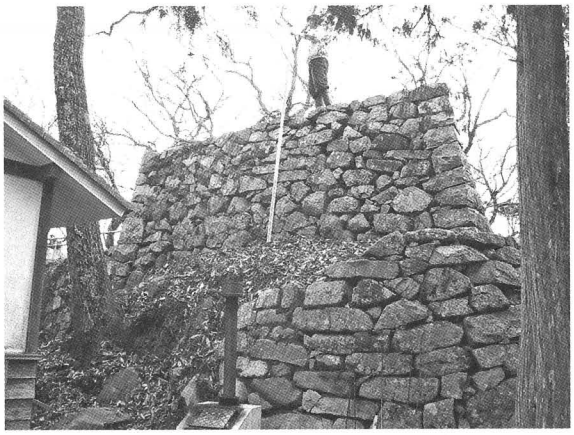
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。	

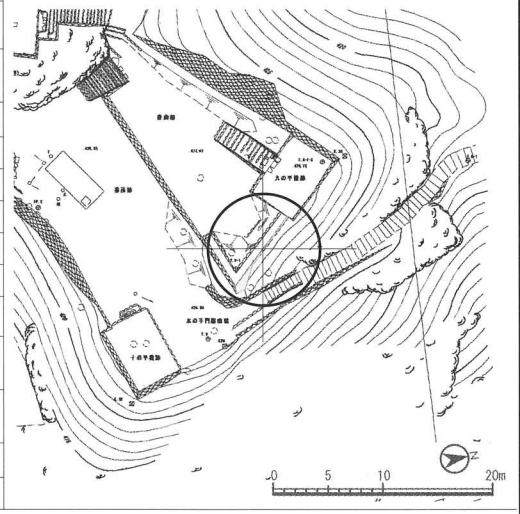


全景写真1



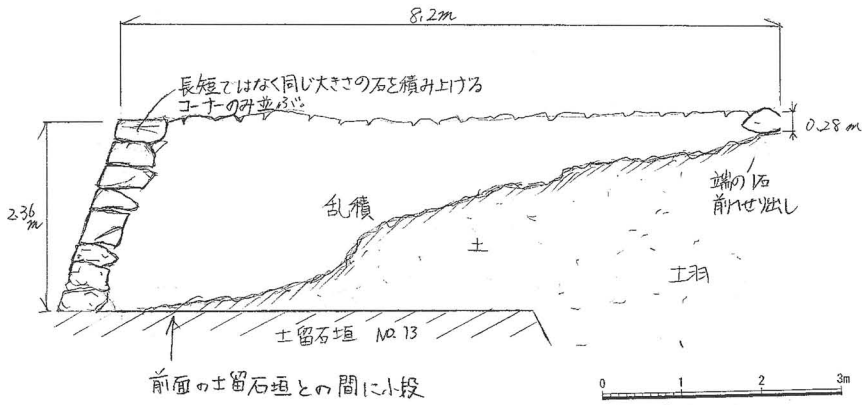
石垣番号	km_185	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	土留				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 8.20		下端 9.30		
石垣高さ	左 2.36		右 0.28		
	最高 2.36		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.22		右 0.00		
	最高地点 0.22				
地盤状況	土留土垣				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

略図

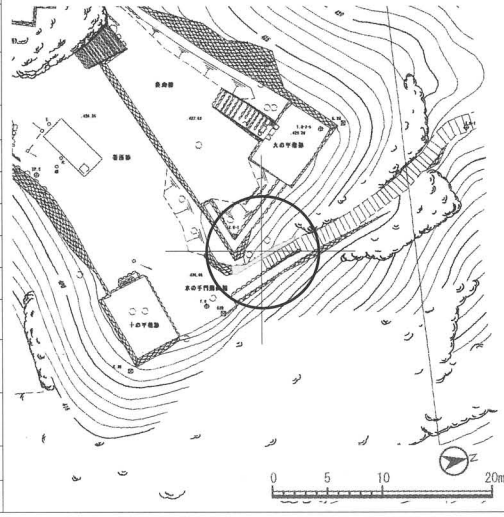


左変曲点

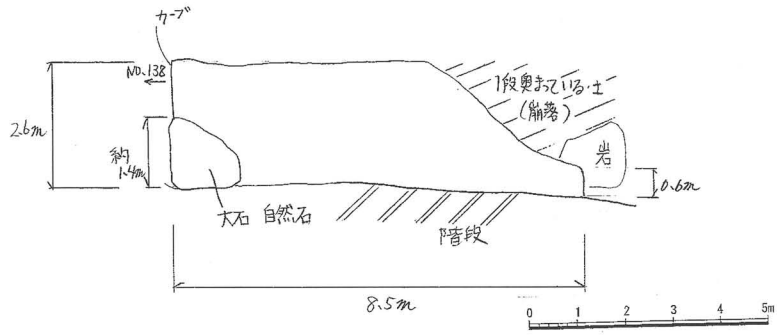
右変曲点

石垣番号	km_186	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角・但しカーブ			
石垣延長	天端 7.90		下端 8.50		
石垣高さ	左 2.60		右 0.63		
	最高 2.75		最高点位置 右 2.65		
石垣勾配	左 0.15		右 0.10		
	最高地点 0.40				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石・野面石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊・良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	石は土羽岩盤すりつけ。右側約20％崩壊。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	

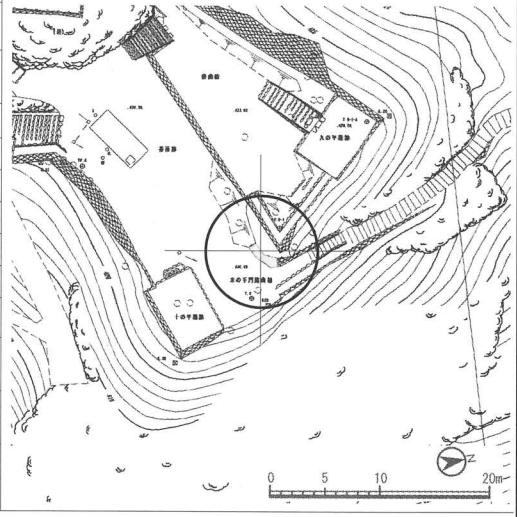


左変曲点

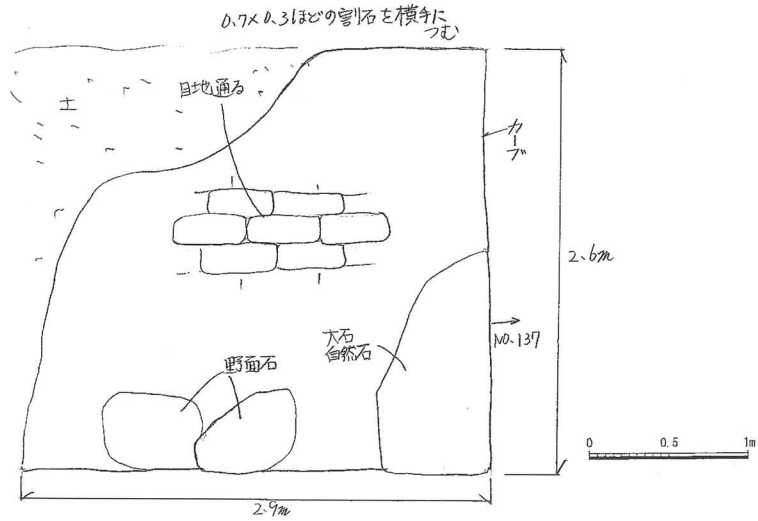
右変曲点

石垣番号	km_187	地区名	小松山城跡	曲輪名	後曲輪
石垣部位	土留				
角の形状	右	出角カーブ			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.70		下端 2.90		
石垣高さ	左 1.90		右 2.60		
	最高 2.60		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.35		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面・土				
石材種別	野面石・割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊・良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。左半分（50%）崩壊。崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



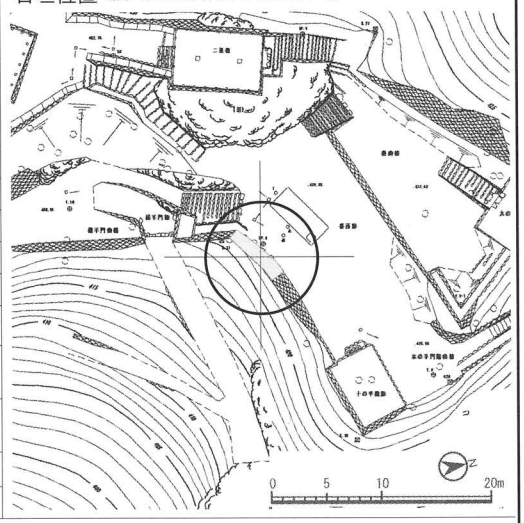
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	



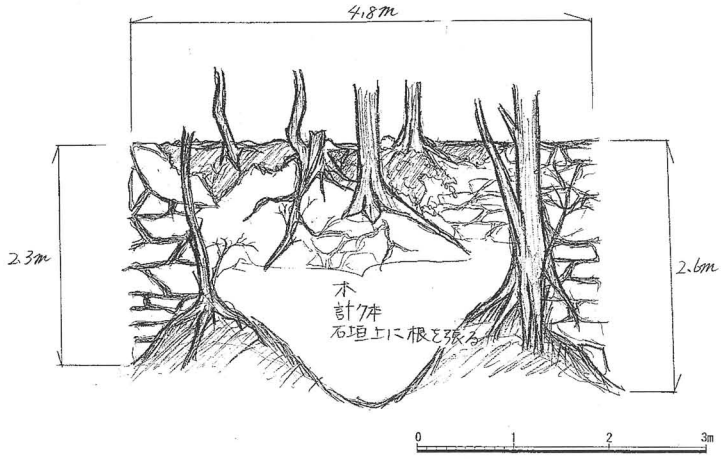
全景写真1

石垣番号	km_188	地区名	小松山城跡	曲輪名	水の手御門脇曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	入角・曲線で111につづく。			
石垣延長	天端 4.80		下端 4.80		
石垣高さ	左 2.30		右 2.60		
	最高 2.80		最高点位置 左 2.30		
石垣勾配	左 0.40		右 0.40		
	最高地点 0.50				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	切石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	石垣上に木（6本）が生えるが安定している。将来的には樹木の枯れによって崩落の危険あり。				

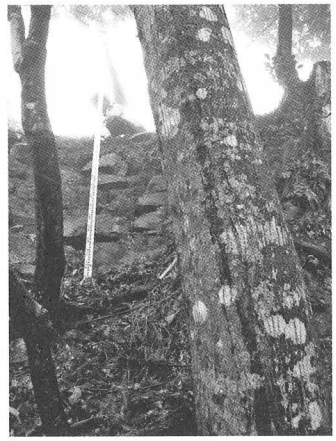
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。	

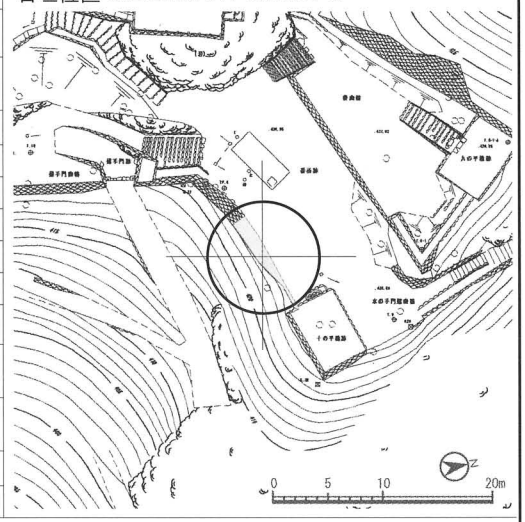


左変曲点



石垣番号	km_189	地区名	小松山城跡	曲輪名	水の手御門脇曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	すり付け・188石垣			
石垣延長	天端 11.30		下端 11.30		
石垣高さ	左 2.60		右 0.87		
	最高 3.00		最高点位置 左 3.30		
石垣勾配	左 0.40		右 0.00		
	最高地点 0.50				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・崩落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	安定している（うねっているが）。将来的には樹木の枯れで崩落の危険性あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

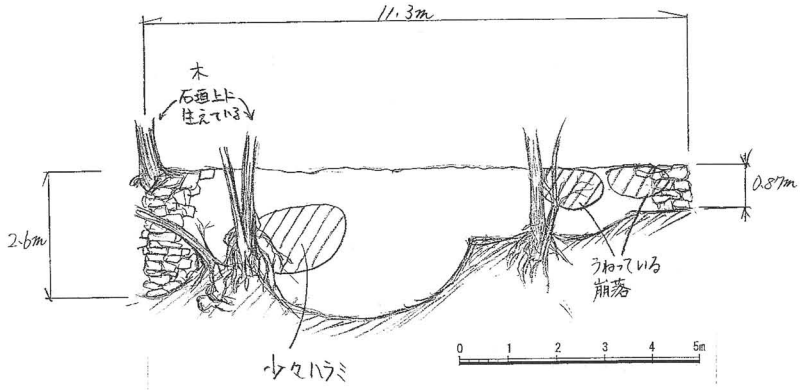


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。

・石垣面の樹木の影響などにより、小ハラミがみられる。

略図

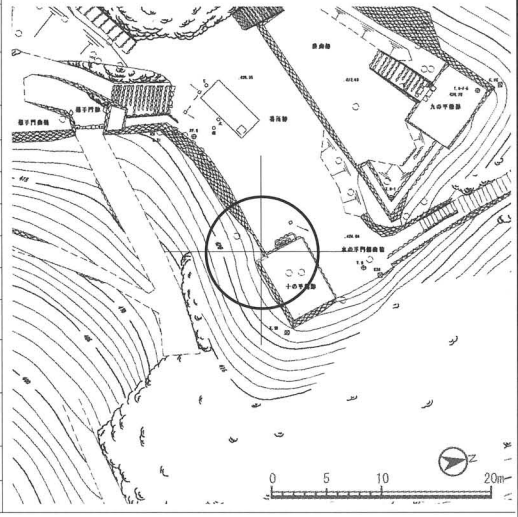


左変曲点

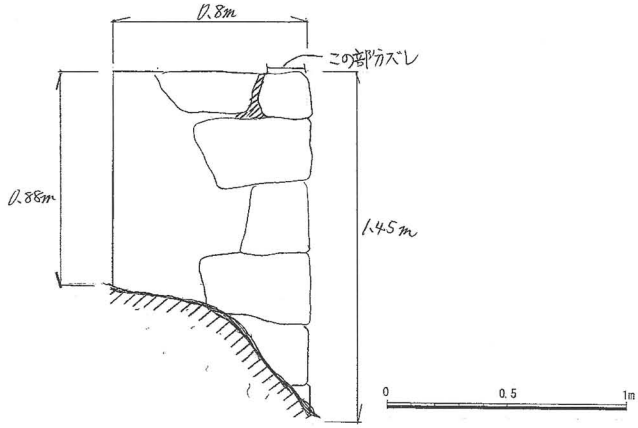
右変曲点

石垣番号	km_190	地区名	小松山城跡	曲輪名	水の手御門脇曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 0.80		下端 1.00		
石垣高さ	左 0.88		右 1.45		
	最高 1.45		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.05		右 0.05		
	最高地点 0.05				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。ていねいに積んでいる。崩落の危険なし。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



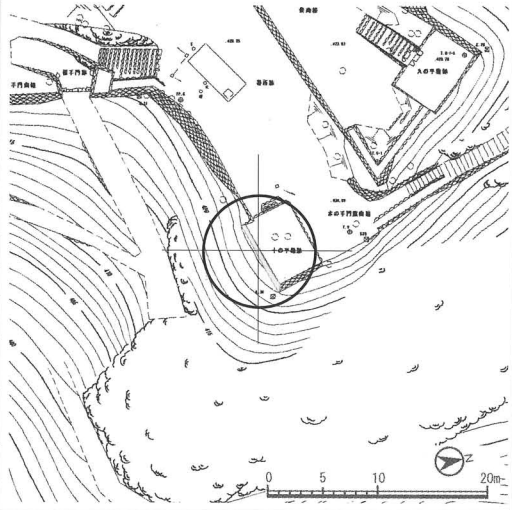
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	



全景写真１

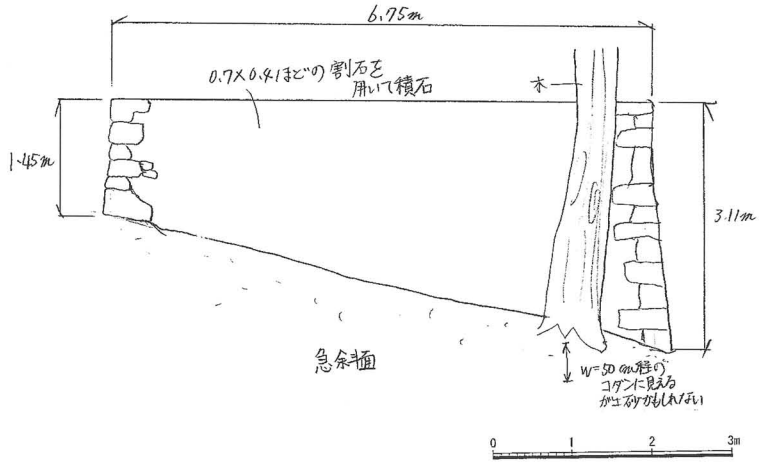
石垣番号	km_191	地区名	小松山城跡	曲輪名	水の手御門脇曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.75		下端 7.00		
石垣高さ	左 1.45		右 3.11		
	最高 3.11		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.15		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。算木積（高）。崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

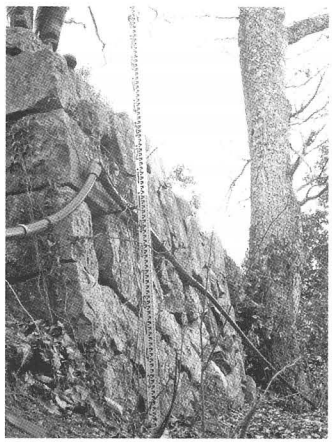


破損の要因と破損状況

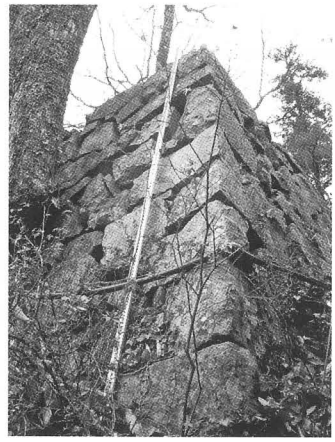
略図



左変曲点

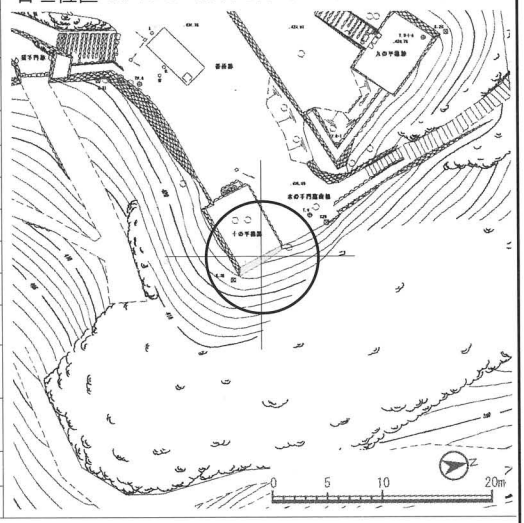


右変曲点

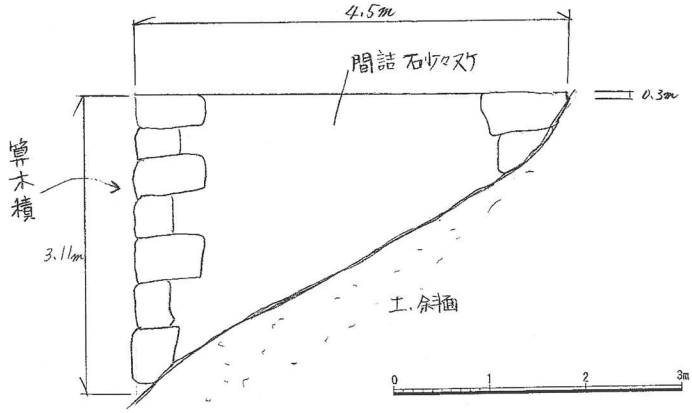


石垣番号	km_192	地区名	小松山城跡	曲輪名	水の手御門脇曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.50		下端 4.80		
石垣高さ	左 3.11		右 0.30		
	最高 3.11		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。算木積（高）。崩落の危険なし。間詰石のヌケあり。				

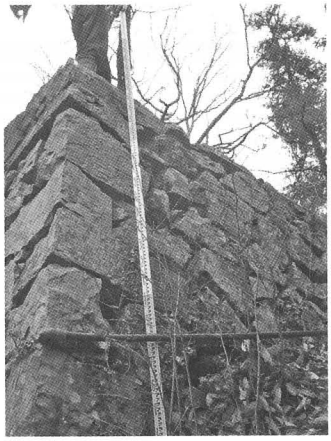
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図



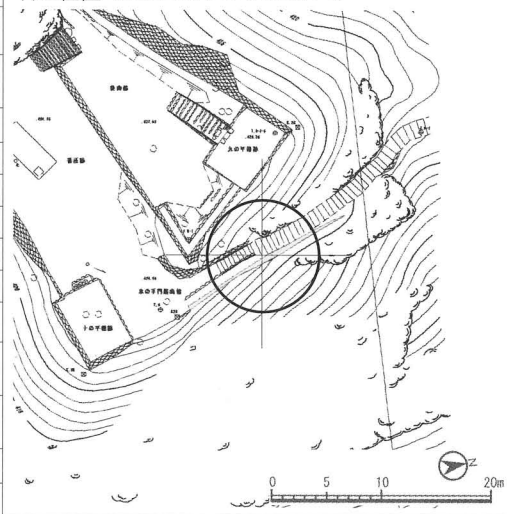
左変曲点



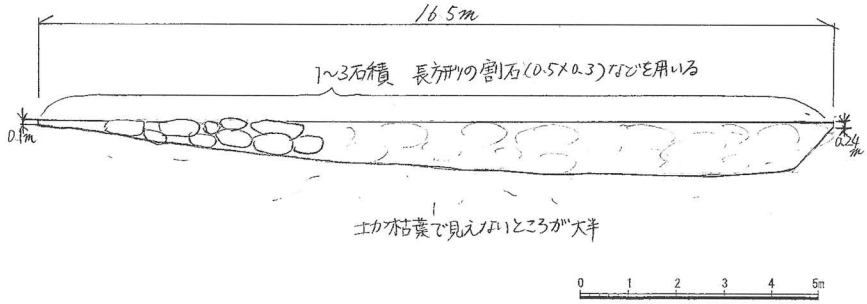
右変曲点

石垣番号	km_193	地区名	小松山城跡	曲輪名	水の手御門脇曲輪
石垣部位	道路				
角の形状	右	すり付け・何となくなくなる			
	左	すり付け・何となくなくなる			
石垣延長	天端 16.50		下端 16.50		
石垣高さ	左 0.10		右 0.24		
	最高 1.05		最高点位置 右 7.70		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.30				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。埋もれている。崩落の危険なし。石列状。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



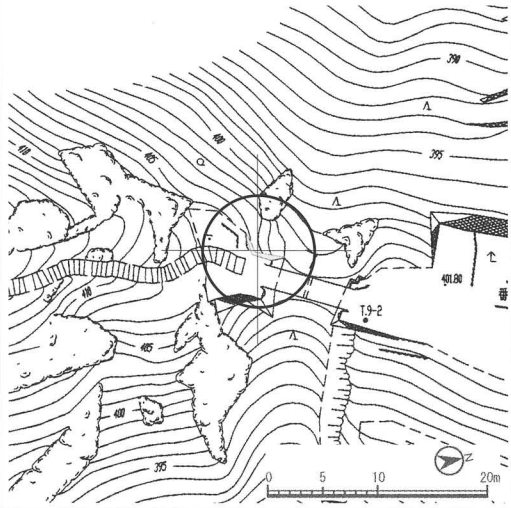
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	



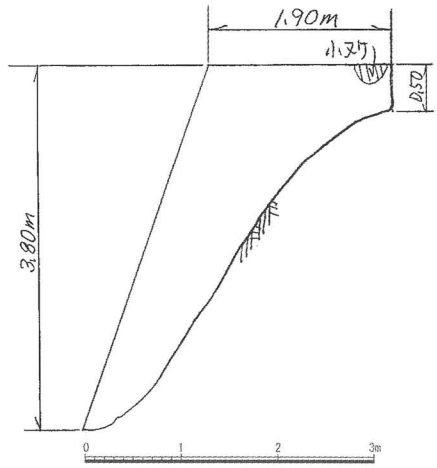
左変曲点

右変曲点

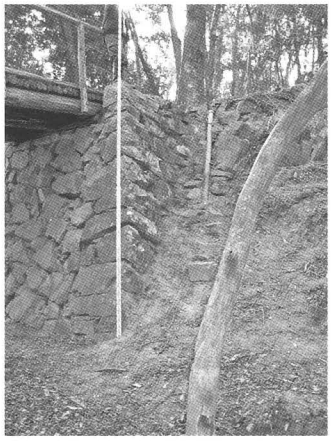
石垣番号	km_194	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.90		下端 3.20		
石垣高さ	左 3.80		右 0.50		
	最高 3.80	最高点位置			
石垣勾配	左 0.30		右 0.00		
	最高地点 0.30				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	比較的大きめで揃った石を使用。間詰石のヌケあり。				



破損の要因と破損状況	略図

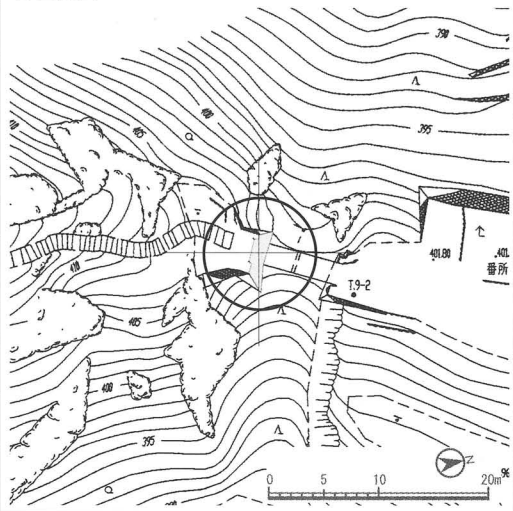


全景写真1



石垣番号	km_195	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	その他(橋)				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.80		下端 5.80		
石垣高さ	左 5.05		右 3.80		
	最高 5.05	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.30		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	割レ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	丁寧に積む。間詰石のヌケあり。				

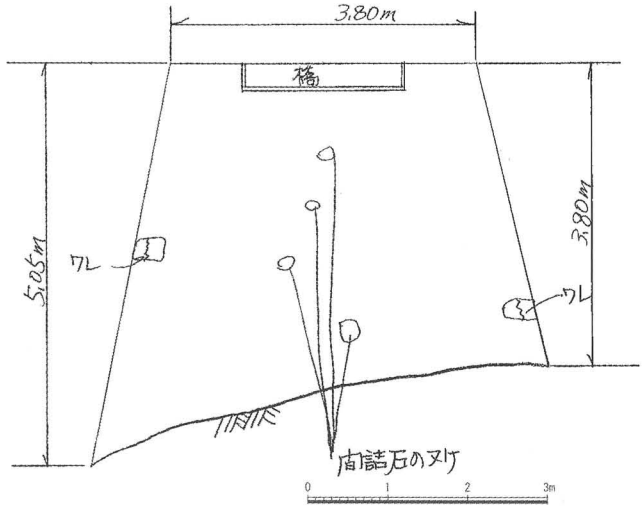
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ワレがみられる。

略図

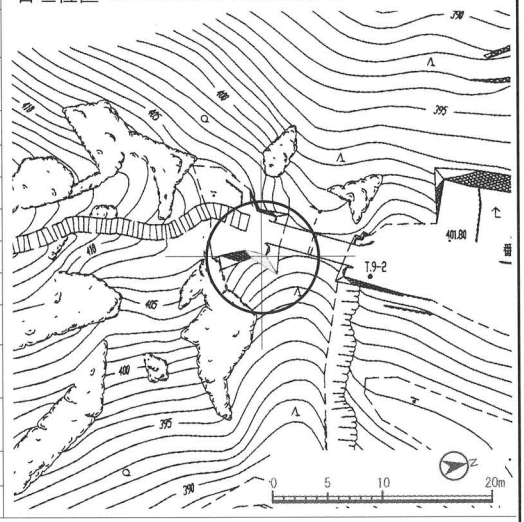


全景写真1

右変曲点

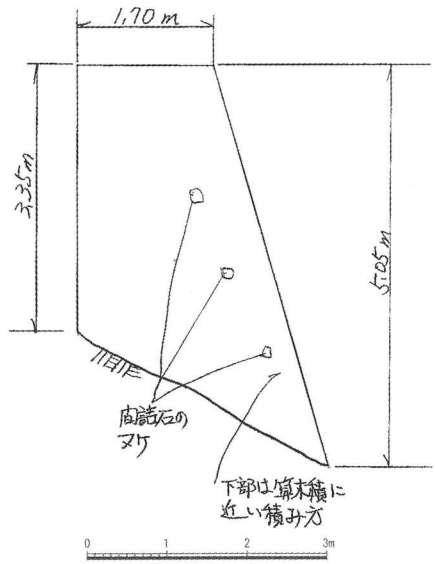
石垣番号	km_196	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.70		下端 3.10		
石垣高さ	左 3.35		右 5.05		
	最高 5.05	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	算木積（低）。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

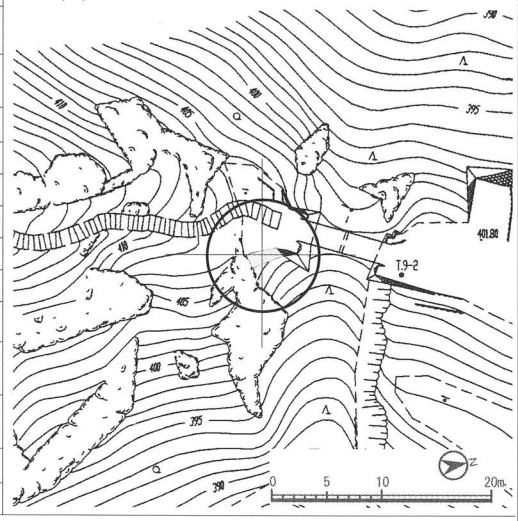
略図



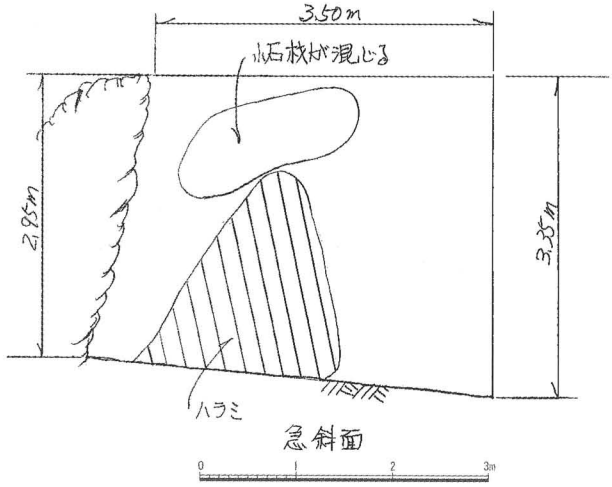
全景写真1

石垣番号	km_197	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路				
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 3.50		下端 4.20		
石垣高さ	左 2.95		右 3.35		
	最高 3.35	最高点位置			
石垣勾配	左 0.55		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	やや小さめの石材が一部みられる。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



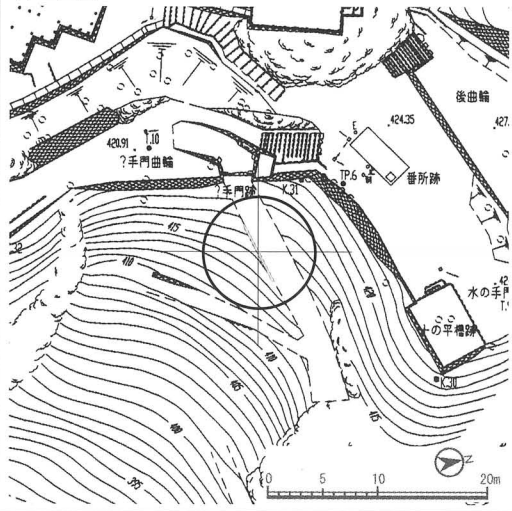
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ハラミがみられる。	



全景写真1

石垣番号	km_198	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 7.15		下端 7.15		
石垣高さ	左 0.20		右 0.23		
	最高 0.60	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	左右両端埋もれか？間詰石のヌケあり。				

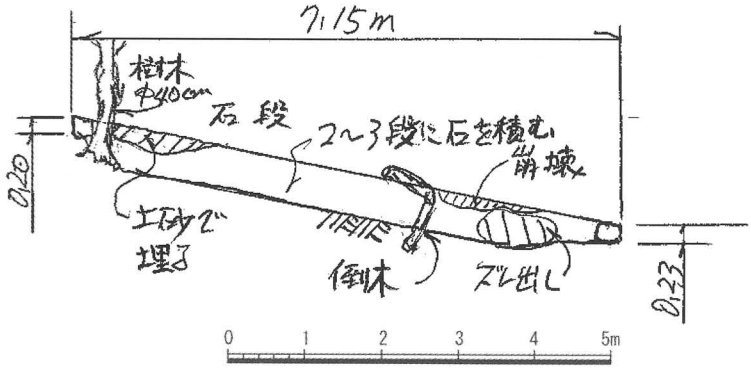
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

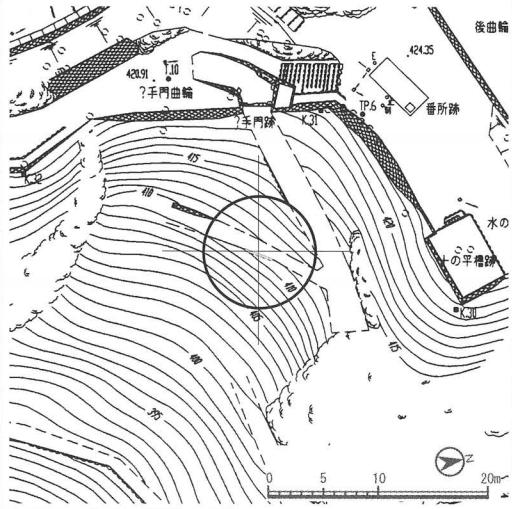
略図



全景写真1

全景写真2

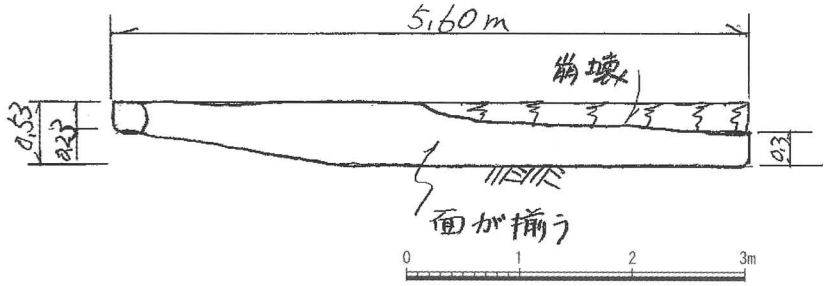
石垣番号	km_199	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 5.60		下端 5.60		
石垣高さ	左 0.23		右 0.30		
	最高 0.53	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.22				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	残存部は面を揃える。				



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。

略図

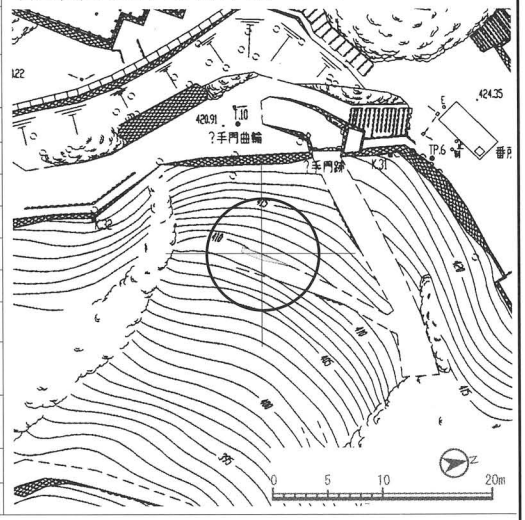


全景写真1

全景写真2

石垣番号	km_200	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.10		下端 2.10		
石垣高さ	左 0.69		右 0.10		
	最高 0.69	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材。				

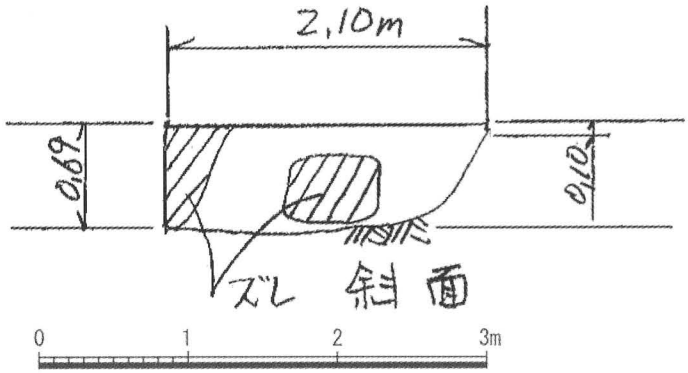
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

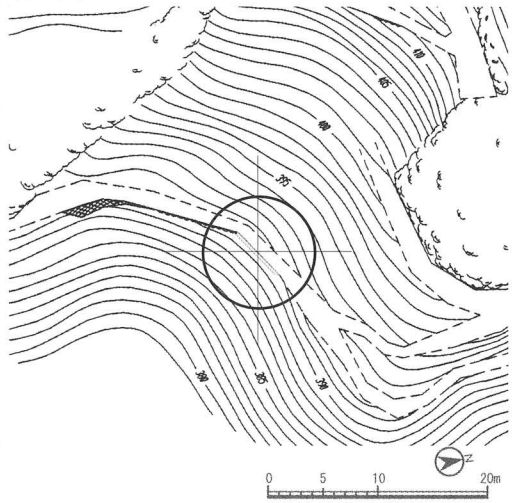
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

略図



全景写真1

石垣番号	km_201	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 5.70		下端 5.70		
石垣高さ	左 0.25		右 0.57		
	最高 0.76	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	面が揃わず、前後に傾く。所々部分崩壊。				

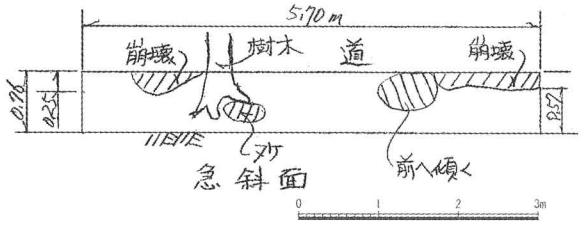


破損の要因と破損状況

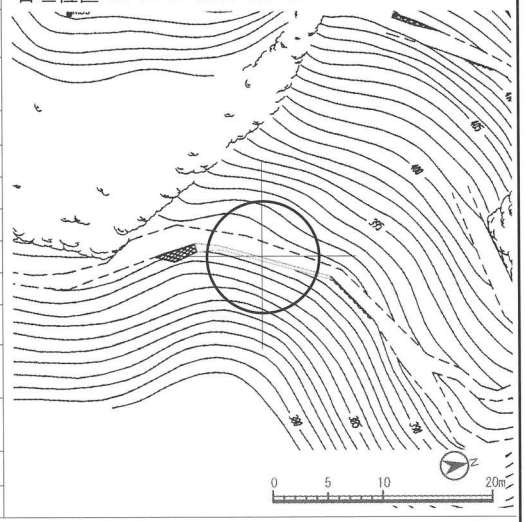
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

・石垣面の樹木の影響などにより、ヌケがみられる。

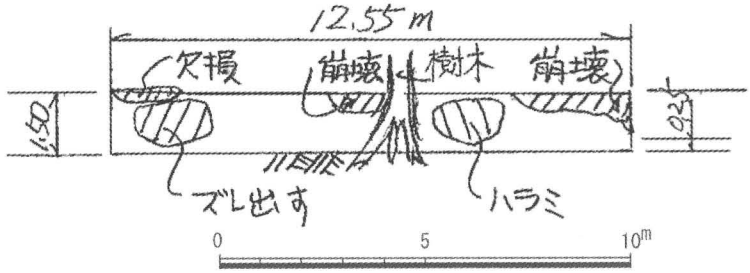
略図



石垣番号	km_202	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 12.55		下端 12.55		
石垣高さ	左 1.50		右 0.25		
	最高 1.50	最高点位置			
石垣勾配	左 0.30		右 0.00		
	最高地点 0.30				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	樹木の侵入がみられる。				



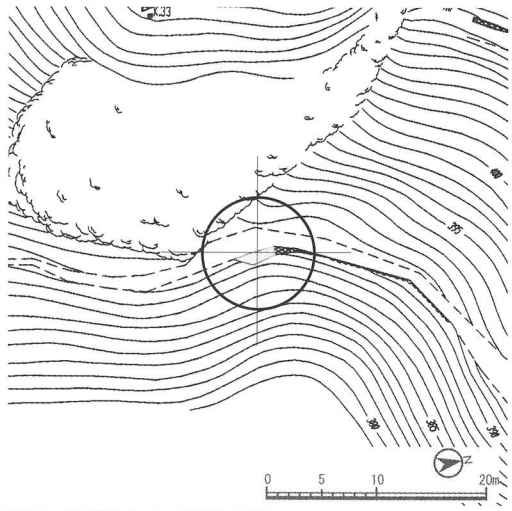
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ハラミ、部分崩壊、カケがみられる。	



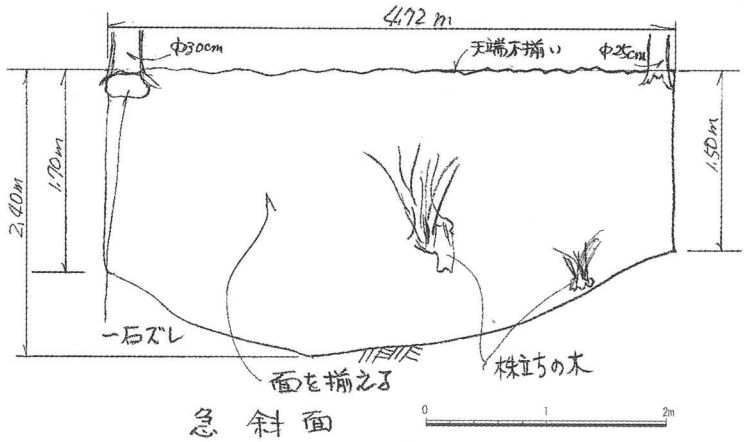
全景写真1

石垣番号	km_203	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け(斜面)			
石垣延長	天端 4.72		下端 3.90		
石垣高さ	左 1.70		右 1.50		
	最高 2.40	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.30		
	最高地点 0.50				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	面を揃える。石材ほぼ同じ大きさのもの。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



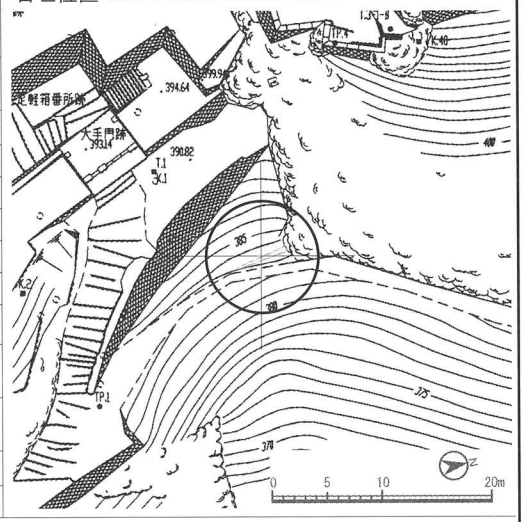
破損の要因と破損状況	略図
・石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。	



全景写真1

石垣番号	km_204	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 3.10		下端 3.90		
石垣高さ	左 0.90		右 1.25		
	最高 1.25		最高点位置		
石垣勾配	左 0.40		右 0.60		
	最高地点 0.60				
地盤状況	その他(道)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	やや雑な積み方。露岩上の築造。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

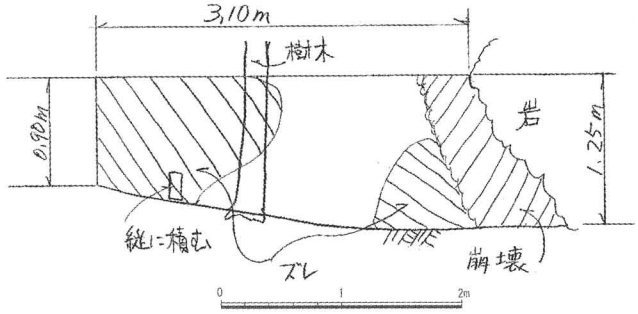


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。

・露岩と築石面の不整合などにより、部分崩壊がみられる。

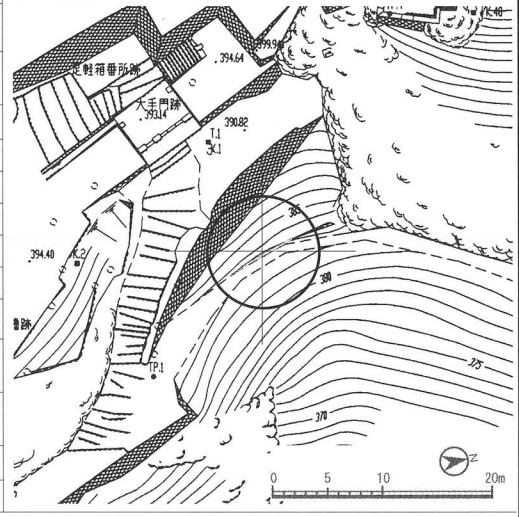
略図



全景写真1

石垣番号	km_205	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け(地盤)			
石垣延長	天端 8.70		下端 8.70		
石垣高さ	左 0.22		右 0.90		
	最高 0.90	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.40		
	最高地点 0.40				
地盤状況	その他(道)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	数石残るのみ。				

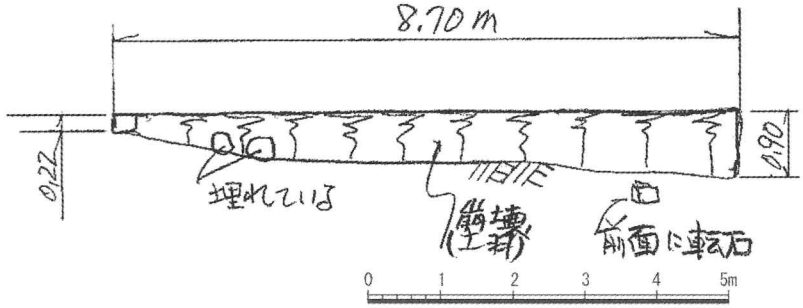
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・全壊している。

略図

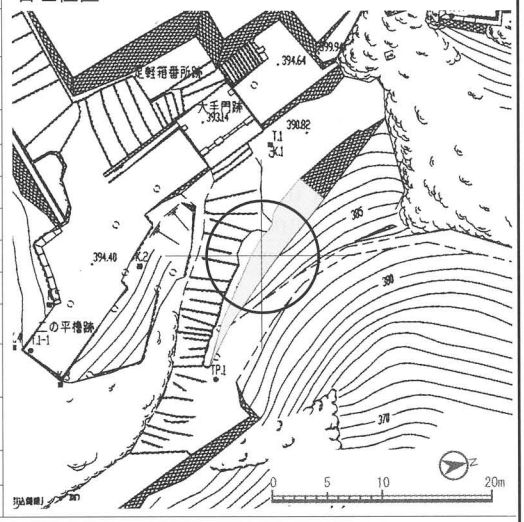


全景写真1

全景写真2

石垣番号	km_206	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	石段				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 S15.25		下端 S15.25		
石垣高さ	左 0.25		右 4.45		
	最高 4.45	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.45		
	最高地点 0.45				
地盤状況	その他(道)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	樹木の侵入が多くみられる。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

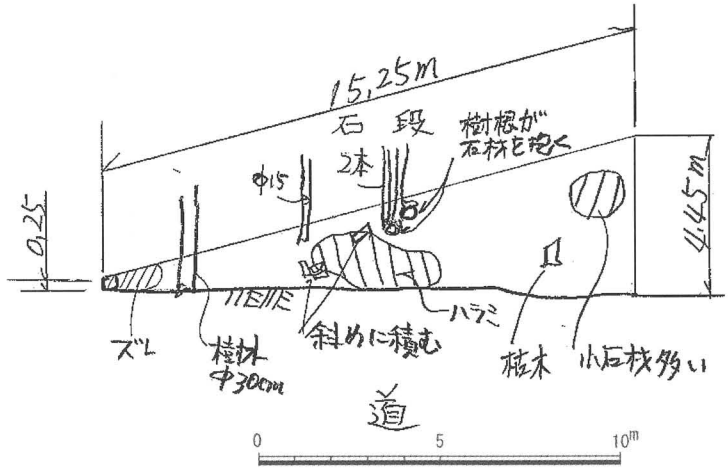


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。

・石垣面の樹木の影響などにより、ハラミがみられる。

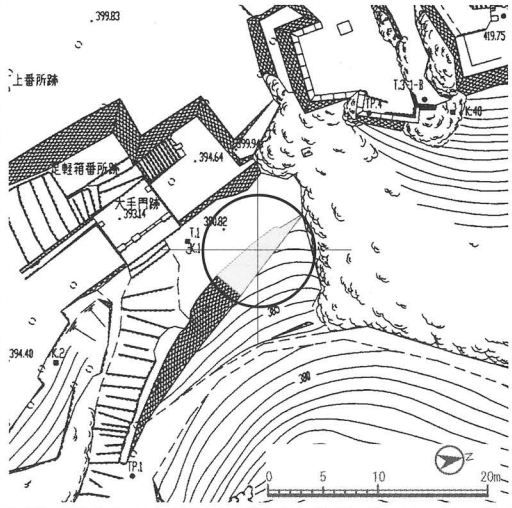
略図



全景写真1

全景写真2

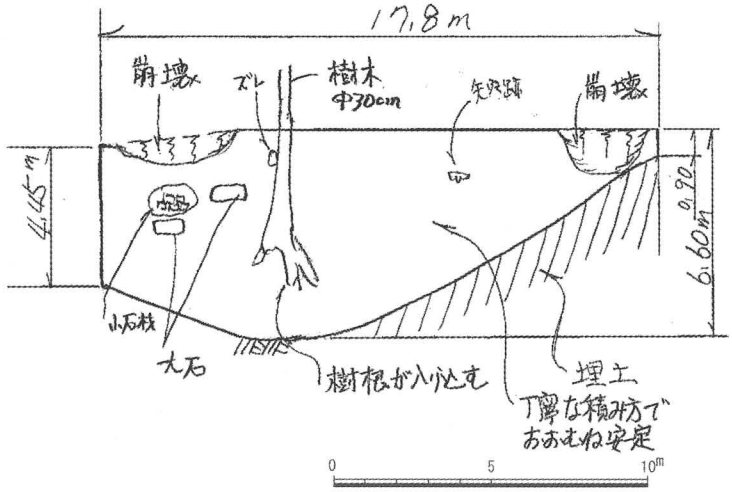
石垣番号	km_207	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 17.80		下端 17.80		
石垣高さ	左 4.45		右 0.90		
	最高 6.60	最高点位置			
石垣勾配	左 0.45		右 0.35		
	最高地点 0.50				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	丁寧に積む。				



破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。

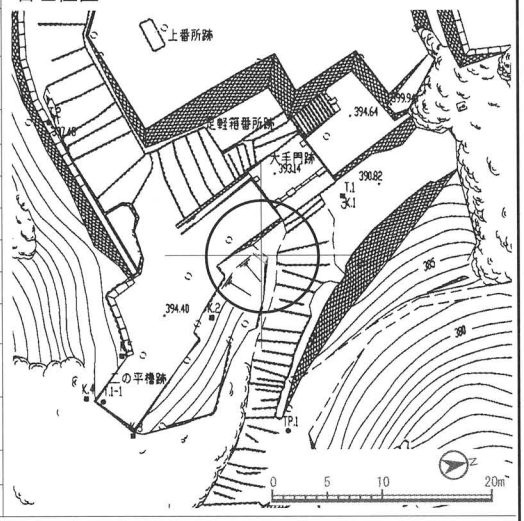
略図



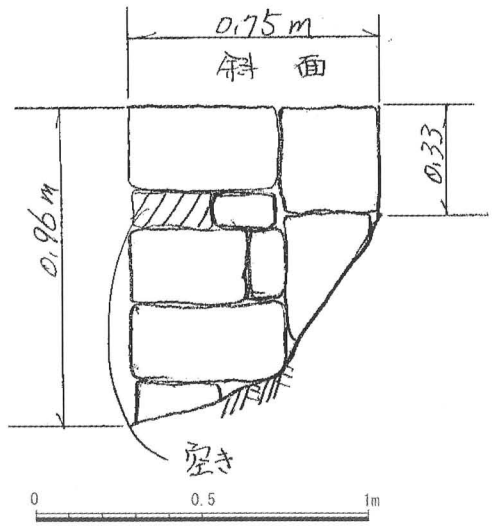
全景写真1

全景写真2

石垣番号	km_208	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 0.75		下端 0.75		
石垣高さ	左 0.96		右 0.33		
	最高 0.96	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	安定している。間詰石のヌケあり。				

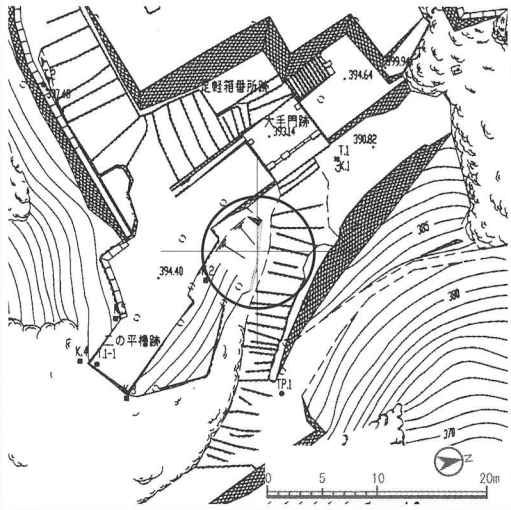


破損の要因と破損状況	略図



全景写真1

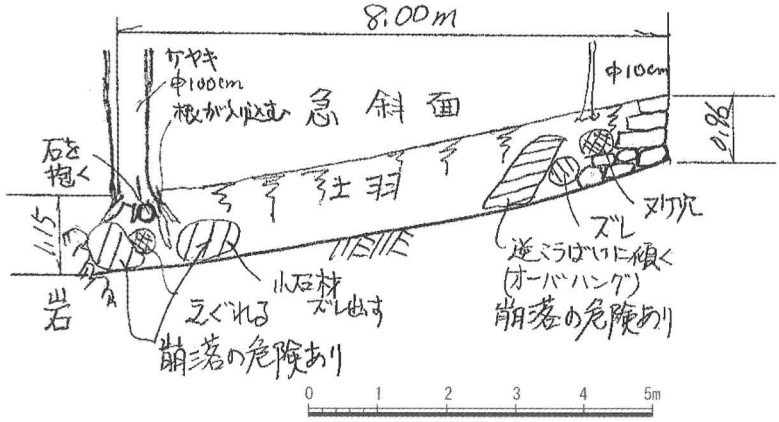
石垣番号	km_209	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 8.00		下端 8.40		
石垣高さ	左 1.15		右 0.96		
	最高 1.15	最高点位置			
石垣勾配	左 0.05		右 0.10		
	最高地点 0.05				
地盤状況	その他(石段)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	A				
特記事項	残存石垣が逆勾配で道側にせり出す				



破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。
- 石垣天端の樹木の影響などにより、部分崩壊がみられる。

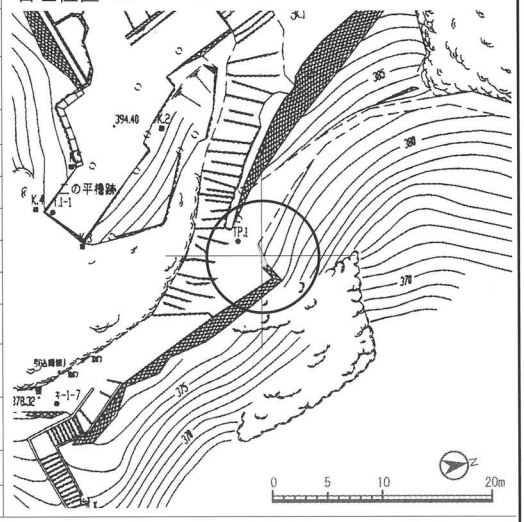
略図



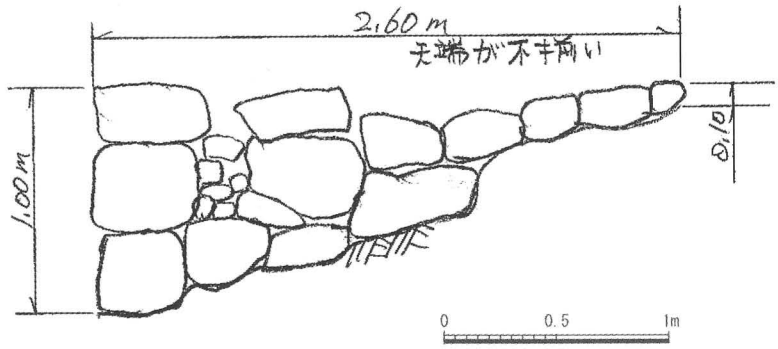
全景写真1

全景写真2

石垣番号	km_210	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	その他(小天地)			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.60		下端 2.60		
石垣高さ	左 1.00		右 0.10		
	最高 1.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.25		右 0.00		
	最高地点 0.25				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	天端が不揃いである。				



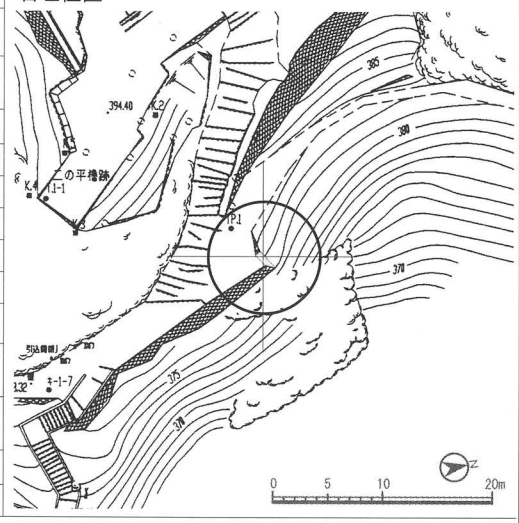
破損の要因と破損状況	略図



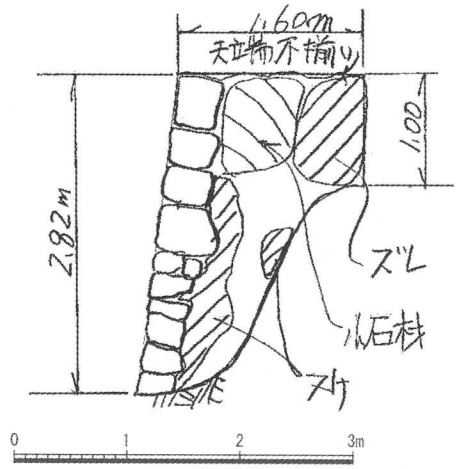
全景写真1

石垣番号	km_211	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	その他(小天地)				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.60		下端 2.00		
石垣高さ	左 2.82		右 1.00		
	最高 2.82		最高点位置		
石垣勾配	左 0.10		右 0.25		
	最高地点 0.10				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	天端が不揃いである。				

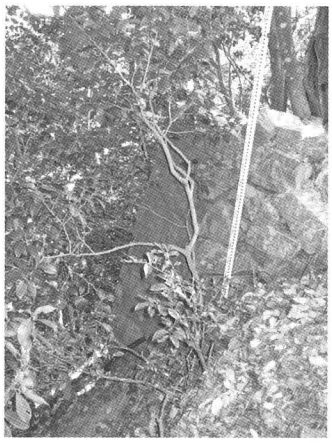
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。	

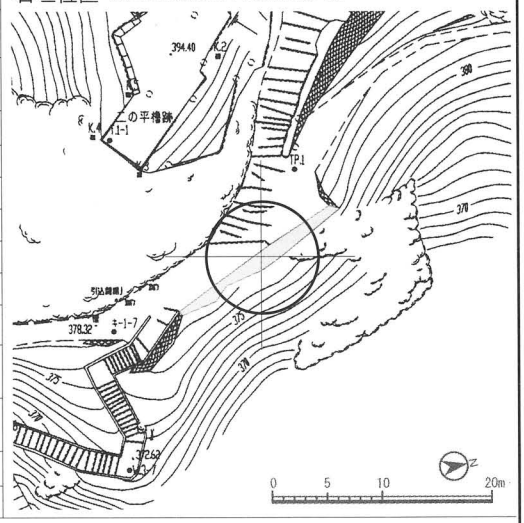


全景写真1

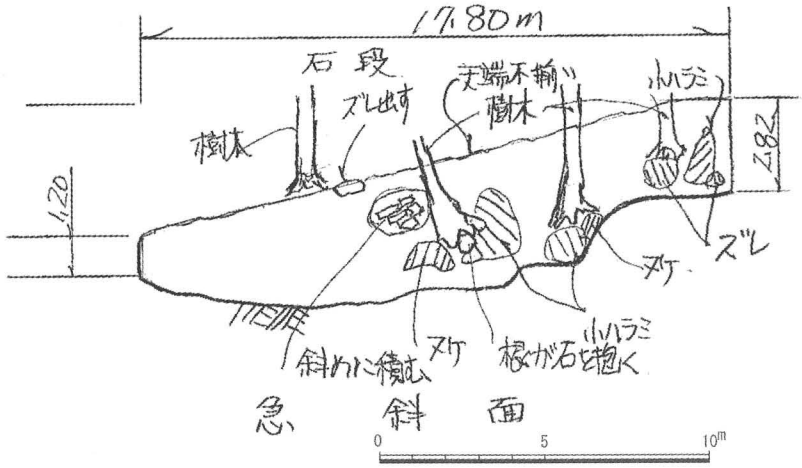


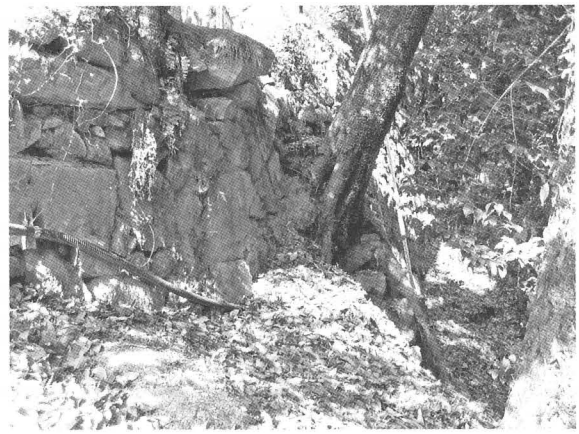
石垣番号	km_212	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	その他(小天地)				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 17.80		下端 17.90		
石垣高さ	左 1.20		右 2.82		
	最高 4.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.10		
	最高地点 0.25				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ・小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	樹根が石垣面に侵入している。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・石垣面の樹木の影響などにより、ズレ、ヌケ、小ハラミがみられる。	



全景写真1

全景写真2